

目次

発刊のことば

例言

執筆分担

第一 民俗

第一部 塩尻に生きる

第一章 異界へのいざない

一 自分でまじなう

二 祈禱師がまじなう

三 予防としてのまじない

四 病の原因とまじなう場所

第二節 ムラの内外―北熊井を例として―

一 ムラの範囲

二 生業と雨ごい

三 寺と墓

四 村境の施設

五 年中行事と異界

第三節 桔梗ヶ原のきつね

一 きつねに化かされた話

二 化かされた場所

三 自然と開発

第四節 死者の訪れ

一 幽霊と人だま

二 異界の消滅と見えないものの力

第二章 再生と死

第一節 生への目覚め

一 妊娠を知った家族の願い

二 妊娠出産と安産の願い

三 出産と取り上げる女性

四 出生の祝いと赤子の披露

第二節 子どもの成長

一 赤子の成長の祝い

二 赤子の成長のまじない

第三節 厄年と再生

一 厄年

二 厄年のまじない

三 厄年の社寺参り

第四節 嫁入りと再生

一 一人前に成長した男女

二 嫁の出で立ちと入家儀礼	三
三 婚家への仲間入り	三
第五節 死と他界	四
一 病人の死	四
二 他界へ出で立ち	五
三 墓地理葬と供養	六
四 死後の魂の供養と行方	六
五 幼児や産婦や妊婦などの供養	七
六 みたまの供養と昇華	七
第三章 日々の喜び	八
第一節 構	八
一 屋敷の形	八
二 屋敷の変化	九
1 果樹栽培農家の屋敷(41)	九
2 野菜栽培農家の屋敷(42)	九
三 聞き合わせ	九
四 家屋敷の盛衰	九
第二節 住まいの出入り口	九
一 農家の住まい	九
二 町家の住まい	九
三 出入り口の変化	九
1 農家の出入り口(南内田)(53)	九
2 町屋の出入り口(郷原)(56)	九
四 出入り口の変化	九
第三節 家族に見守られて	六
一 時計とともに	六
二 時を刻む音	六
三 カレキタオレ	六
四 家族の幸せ	六
第四章 女と子どもの生活誌	六
第一節 嫁 住み	六
一 お気兼ね	六
二 婚家になじむ	六
三 主婦の座の譲り渡し	六
第二節 主婦の暮らし	七
一 やりくり	七
二 つきあい	七
三 家を守る	七
第三節 家と子ども	七
一 家を継ぐ子	七
二 しつけ	七
三 一人前	七
第四節 子どもの世界	八
一 遊 ぶ	八
二 ムラに果たす役割	八
三 よきムラ人を目指して	八
第五章 き ず な	八

第一節 血のきずな	六九	三 雇い人	二六
一 親と子	六九	四 芸能と信仰と	二六
二 兄 弟	七〇	第三節 定着する人びと	二八
第二節 家のきずな	九一	一 ワラジヲヌク	二八
一 本家と分家	九一	二 定着その後	二八
二 同 姓	九二	第四節 ムラを離れて	二九
三 オヤを頼む	九四	一 よそへ出るとき	二九
第三節 地域のきずな	九六	二 生産物の出荷	三三
一 ムラのしくみ	九六	第七章 時とともに	三四
二 ムラのつきあい	九七	第一節 春の訪れ	三四
三 ムラの義理	一〇〇	一 身軽になつて	三四
第四節 友のきずな	一〇三	二 農作業の開始	三九
一 信仰で結ばれた友	一〇三	三 農繁期の前に	三九
二 助け合いの友	一〇三	第二節 農 繁 期	三三
三 同世代の友	一〇四	一 薄着の日々	三三
第六章 人の行き来	一〇六	二 田 植 え	三三
第一節 ゆきかえり	一〇六	三 暑さの中で	三三
一 共有財産としての道	一〇六	第三節 実りの秋	三七
二 街道と宿場	一〇八	一 寒さを迎えて	三七
三 峠 ー 向こうの世界ー	一〇九	二 収 穫	三六
四 通信と運搬	一一一	三 収穫の祝い	三九
第二節 寄り来る人びと	一二四	第四節 新しい暦	四一
一 行 商 人	一二四	一 寒さの中で	四一
二 内の職人と外の職人	一二五		

第二部 村の生活

二 冬の仕事	四〇
三 晴れやかな日々	四三

三 伐採と加工、そして植林・間伐	七〇		
四 動植物の捕獲・採取	七三		
くま狐	かもしか・いのしし	猿・てん・たぬき・	
うさぎ	山鳥	へび・かえる・はち	山菜・きの
こ類			

第一章 山峡のムラ

第一節 小曾部の自然と歴史

一 地形と動・植物	五
二 ムラの成り立ち	五
三 近・現代のできごと	五

第二節 小曾部のしくみと家

一 オオナカと二つの区(自治会)	六
------------------	---

世帯数・人口 オオナカ 上小曾部区と行政組

下小曾部区と行政組

二 村組とその機能	九
三 家々のつきあいと贈答	六

1 A家から他家への贈与(162) 贈答の契機 受

け手の分類 見舞品・見舞額など 2 他家よりA

家への贈与(163) 贈答の発生契機 贈り手の分類

見舞品・見舞額など

第三節 山とのかかわり

一 山に依存するくらし	五
-------------	---

二 薪炭の生産	六
---------	---

炭焼き 薪作り 薪炭生産の衰微後

第四節 農業生産と交易

一 近代小曾部の農業

二 穀物の生産	七
三 野菜の栽培と販売	八
四 養 蚕	八
五 畜 産	八
六 諸職・商い	九

諸職 商い よそから来る職人・行商人

第五節 衣と食と住

一 衣 生活	六
二 食 生活	八
日常生活の場合 晴れの食品	八
三 住 生活	九

第六節 一年のリズム

一 正月の行事	九
---------	---

正月の準備 大みそか・正月三か日間 四日・七

日・一日など 一四日・一五日前後 二〇日前後

二 春から夏の行事
 九 |

三 盆 行事	九
--------	---

墓掃除	施餓鬼会	盆に米るホトケ	盆棚	盆
花	ホトケ迎え	魚を食べること	ホトケの供え	
物	無縁仏への供物	盆棚の始末	ホトケ送り	
タナマイリ	アラボンの場合	盆踊り	盆期間中	
の葬式	カマドメシ			
四 秋から冬の行事				三〇三
第七節 誕生から死まで				三〇三
一 誕生と成長				三〇三
出産	誕生	成長		
二 結 婚				三〇五
婚礼前日まで	初婚入りと嫁入り	嫁の里帰り		
三 戸主・主婦として				三〇七
四 死と死後				三〇六
死から通夜まで	葬式	年忌法要	墓制	
第八節 ムラの神々				三〇〇
一 屋内の神々				三〇〇
二 祝殿と同族の祭り				三二二
祝殿	祭神	木札などの確認年号	祭日	祝殿
祭祀にみる同族意識				
三 小祠などと講行事				三二九
小祠・石碑とその祭り	講行事			
四 八幡・鹿嶋神社と小曾部神社				三三三
八幡神社	鹿嶋神社	小曾部神社		
五 寺院と堂				三三六
興龍寺	観音堂	大日堂	その他の堂	
第九節 さらなる展開への模索				三三〇
第二章 里のムラ				三三三
第一節 つきあう				三三三
一 家族・相続				三三三
兄と弟	嫁と姑	シンショワタシ	主婦の交替	
二 一家と家のつきあい				三三三
シンタク	本家とシンタク	同姓	オヤ	
三 ムラのしくみとつきあい				三三四
常会	ムラの役員	寄り合い	ムラの仕事	ム
ラの共有財産	五戸・一〇戸	向こう三軒両隣		
四 友のつきあい				三三六
講	イー	少年団	サンクロー	青年会
その他の会	茶飲み友だち	わら細工	酒盛り	
五 郷原の昔と今				三三八
元の居住地からの移住	井戸	水利	変電所や松	
本齒科大学ができて				
第二節 生きる				三三九
一 婚 姻				三三九
縁談のハシワタシ	婚約	ユイノ	ムコイリ	
嫁の荷送り	嫁入り道中	入家儀礼	杯ごと	
披露宴	嫁入り二日目	サトガエリ		
二 産 育				三四三
妊娠と安産祈願	出産	ウブメシとウブユ	ミツ	
カイワイとシチャ	孫迎えとオミヤマイリ	クイゾ		三四三

メ	初誕生	三六
三	年齢儀礼	三六
	オビムスビ	成長した男女	厄年と年祝い
四	葬送	三七
	ムシノシラセと死	死と死者への作法	ユカンと
	ノーカーン	葬式	死後の供養
第三節	住まう	三六
一	屋敷	三五
	屋敷割	屋敷地の選定	宿場の大火
二	屋敷まわり	三五
	屋敷の呼び名	付属建物	通路
	耕作地	墓	飲み水
三	母屋	三五
	屋根型	本棟造り	屋根
四	間取り	三五
	土間	居間のいろり	寝間
			座敷
			照明
五	普請	三五
	普請の呼び名	シマツリ	ドーズキ
			ソーマヒキ
	タテマエ	壁塗り	ヤウツリ
第四節	着る	三五
一	仕事着	三五
	男性の仕事着	女性の仕事着	テサシ
二	かぶりもの	履物	わら細工
三	雨具・防寒具	三六
			雨具
			防寒具
四	祝い着	三六
	ウブキ	宮参り着	成育を願って作る着物
			三歳
			の祝いや
五	婚礼と葬式の支度	三六
	かぶりものなど	履物
六	晴れ着	中間着
第五節	食べる	三六
一	食料	三六
	主食料	主食の補い	野性の食料
			魚介類と肉類
二	保存	三六
	越冬野菜の保存	日に干す保存	凍らせて干す保存
	塩漬けの保存	三六
三	食品	三六
	一日の食事	粉食	餅と赤飯と団子
			正月と盆の
	食事	婚礼と葬式	里帰りの土産
四	醸造品	三六
	味噌	スマシとタマリ
五	食器	神仏への供物	飲酒
第六節	働く	三七
一	畑作の形態	三七
	さまざまな畑作物	麦類の栽培	雑穀の栽培
			野
			菜の栽培

一 用水堰に頼つた稲作	二七三								
水田と給水	繰り返す稲作	苗代作り	本田の整地	田植え	田の草取り	稲刈りと脱穀	稲の調整	二七三	
三 養蚕の盛衰	二八二								
盛んになった養蚕	養蚕の準備	稚蚕飼育	蚕の成長と上ぞく	養蚕の衰退	二八二				
四 盛んになった果樹栽培	二八六								
増えた果樹園	ぶどうの栽培	なしとりんごなどの栽培	二八六						
五 川漁と田こい	二八八								
奈良井川の漁	田こいの養殖	二八八							
六 農家の労働力	二八八								
農家の働き手	農家の一年の生活	兼業農家の一日の生活	二八八						
第七節 運ぶ・商う	二八八								
一 宿屋の暮らしと旅人	二八八								
宿場と道	宿屋に泊める	二八八							
二 日々の暮らしと往来	二八八								
稼ぎの手だて	他者との交渉	ムラに定住する	二八八						
よそとの出会い	二八八								
第八節 おこなう	二八八								
一 正月準備	二八八								
餅つき	大掃除	松迎え	二八八						
二 年取りから正月	二八八								
年取りのこちそう	アラミタマ	年取り	ワカミズ	シゴトハジメ	ミツカドシ	ナナクサ	ク	ラヒラキ	二八八
二 小正月	二八八								
作始め	ワカドシ	トリオイ	サンクロー	二八八					
十日正月	二八八								
四 春から夏へ	二八八								
節分	初午	二月八日	彼岸	お節供	味噌	二八八			
たき	春祭り	苗代作り	四月八日	お節供	二八八				
田植え	二八八								
五 盆 前後	二八八								
七夕	墓掃除	盆花	盆棚	迎え盆	無縁仏	二八八			
アラボン	盆踊り	送り盆	二八八						
六 秋から冬へ	二八八								
お祭り	稲刈り	十三夜	コケマサマ	トールカ	二八八				
ンヤ	えびす講	冬の仕事	二八八						
第九節 まつる	二八八								
一 郷原運動社合殿	二八八								
祭神	祭り	境内社	氏子	宮役員	二八八				
二 郷 福 寺	二八八								
壇家	行事	二八八							
三 村にまつる神	二八八								
天王原	水神様	ドーソジン	山の神	二八八					
四 家にまつる神々	二八八								
屋敷神	神棚	年神	えびす・大黒	ゴジョー	二八八				

藏の神 便所神	三〇四
五 信仰的講	三〇四
戸隠講 庚申講 御嶽講など	三〇四
善光寺参り	三〇六
六 祈 願	三〇六
雨ごい 虫追い ほうそう送り 道切り	三〇七
第十節 語 彙	三〇七
一 伝 説	三〇七
塩尻の地名由来 桔梗ヶ原の地名由来 ヤツカ	三〇七
泉小太郎(一) 泉小太郎(二) 牛伏寺の由来 大阪屋	三〇七
の由来 戸隠神社の由来と大和の尾掛け松 神社の	三〇七
たたり 餅を朝につくわけ(一) 餅を朝につくわけ(二)	三〇七
餅つきの禁忌	三〇九
二 昔 話	三〇九
十二支に猫が入っていないわけ 鳥の鳴き声 ソロ	三〇九
リシンザエモン 枯れ木見舞い 一休話 灰繩	三一一
三 世 間 話	三一一
玄蕃之丞の話(一) 玄蕃之丞の話(二) 玄蕃之丞の話(三)	三一一
玄蕃之丞の話(四) 次郎長の話 安政四年の大火	三一一
安政五年の大火 むじなに化かされた話 きつねに	三一一
化かされた話(一) きつねに化かされた話(二) 長い郷	三一一
原の村	三一一
第三章 山麓のムラ	三二五
第一節 つきあう	三二五
一 家族・相続	三二五
家族の会議 食事の席 入浴の順 勤めや家事と	三二五
田畑の仕事 兄と弟 嫁と姑 家を継ぐ者 家	三二五
長の交代 主婦の交代	三二五
二 一家と家とのつきあい	三二六
分家 分家の扱い 同姓 同姓の助け合い 同	三二六
姓の新年会 同姓の祭り ハネオヤ 近所のつき	三二六
あい 結婚式の招待 葬式の手伝い	三二六
三 ムラのしくみとつきあい	三二九
ムラのしくみ 組と常会 ムラの役員 役員の違い	三二九
出と引継ぎ 寄り合い ムラの財産 区・常会の	三二九
会計 ムラの仕事 ムラの取り決めに違反した場合	三二九
公民館 宮総代	三二九
四 友とのつきあい	三三三
庚申講 その他の講 子供仲間 青年団 主婦	三三三
の仲間	三三三
第二節 生 き る	三三五
一 婚 姻	三三五
婚姻の範囲と条件 縁談のハシワタシ 婚約 ユ	三三五
イノー ムコイリ 嫁の荷送り 嫁入り道中	三三五
入家儀礼 杯ごと 披露宴 嫁入り二日目 サ	三三五
トガエリ 嫁の里とのつきあい	三三五
二 産 育	三三〇
妊娠と安産祈願 出産とウブユ 出産に炊く御飯と	三三〇
産見舞い 出産の祝いとトコアゲ 孫迎えとオミヤ	三三〇

マイリ クイゾメ 初誕生

三年 齢儀礼 三三

オヒムスビ 成長した男女 厄年と年祝い

四 葬送供養 三三

死と死者への作法 死者の供物と葬式準備 ユカン

とノーカン 葬式 死後の供養 神葬祭

第三節 住まう 三七

一 屋敷 敷 三七

屋敷構え 屋敷地選定 飲み水

二 屋敷まわり 三八

屋敷内の施設 付属建物

三 母屋 四〇

屋根 ホンヤ

四 間取り 四一

土間 居間のいろり かまと 食事 神棚と仏壇 寝間 座敷 照明

五 普請 請 四三

普請の範囲 シマツリ トーヅキ タテマエ

ヤオツリ

第四節 着る 四五

一 仕事の服装 四五

男性の仕事着 女性の仕事着 手甲 かぶりもの

雨具 防寒具

二 改まった服装 四七

成育の祝着 婚禮と葬式の支度

第五節 食べ 四七

一 主食 糧 四七

主食 主食の補い 救荒食物

二 副食 料 四八

山菜など 魚と肉 スガレといなぎ ツブとどじょう

三 保存 存 四九

モロ 干す

四 食品 五〇

一日の食事 粉食 餅 団子とオコワ 暮れと正月 婚礼と葬式

五 醸造 品 五一

味噌 スマシとタマリ

六 食 制 五一

食事の場 飲食の機会

第六節 働く 五三

一 畑作の形態 五三

畑と多様な畑作物 麦類の栽培 雑穀の栽培 野菜の栽培

二 沢の水に頼った稲作 五五

斜面にひろがる水田 水田の用水 苗代作り 本の整地 田植え 田の草取り 稲刈りと脱穀 稲の調整

三 養蚕の盛衰 五六

盛んになった養蚕 桑と桑畑の手入れ 飼育の準備

とハキタテ 蚕の成長と上ぞく マユカキと出荷

四 山の生産 …………… 三三

山と人々とのかわり ボヤズミの焼き方

五 家畜の飼育と副業 …………… 三六

農家の家畜の飼育 農家の内職

第七節 運ぶ・商う …………… 三六

一 交 通 …………… 三六

道と仕事 道普請 旅

二 運 搬 …………… 三六

人力 車馬

三 交 易 …………… 三九

行商人・呼び売り 仲買人と出荷 雇い人・職人

ゴゼ・臨事のモノモライ 買い物と勘定 緑日

第八節 おこなう …………… 三七

一 正月準備 …………… 三七

ススハライ 餅つき 松迎え

二 一年取りから正月 …………… 三七

年取りのごちそう アラミタマ 年取り 年取り

の夜 ワカミズ 元旦の食事 二日・三日の食事

シゴトハジメ 三年取り ナナクサ 鏡開き

三 小 正月 …………… 三五

餅つき 作始め オンバシラ 道具の年取り

物作り サンクロー トリオイ オセイニチ

二十日正月 みそか正月

四 春から夏へ …………… 三七

節分 オヨウカ 初庚申 ネハン会 彼岸

雛祭り 四月八日 お祭り 味噌たき お節供

五 盆 前 後 …………… 三六

七夕 墓掃除 盆花 盆市 盆棚 迎え盆

アラボン 中盆 盆踊り 送り盆

六 秋から冬へ …………… 三六

十五夜 蛭玉様の祭り 十三夜 トーカンヤ

えびす講 冬至

第九節 ま つ る …………… 三六

一 南内田の杜寺 …………… 三六

大宮八幡宮 無量寺

二 小 祠 …………… 三六

オカイコサマ トーロクジン オンベ 山の神

秋葉様 金毘羅様 神武様 水神様 …………… 三八

三 祝 殿 …………… 三八

四 講 …………… 三九

庚申講 秋葉講 三峯講 戸隠講

五 屋内神など …………… 三九

神棚 えびす・大黒 屋内の神 風の神 猿田

彦 雨ごい 行者

第十節 語 る …………… 三九

一 伝 説 …………… 三九

テトラボッチ 泉小太郎 鉢伏山の所屬 赤木山

の所屬 玄蕃之丞 玄蕃之丞の子どもの話 赤木

山の新左衛門 大宮八幡 片葉の葎 片葉の葎

屋敷跡 無量寺の鐘 門松の替わりに柳をたてるわ
け 家の伝説 しし土手

二昔話

団子髻(一) 団子髻(二) 馬のしりに札 へひり嫁(一)

へひり嫁(二) 十二支の由来(一) 十二支の由来(二)

ほととぎすの兄弟

三世間話

きつね火 むじなの話(一) むじなの話(二)

参考・引用文献

第二章 文化財

第一章 史跡・名勝・天然記念物

第一節 史跡

1 平出遺跡……………国指定

(一) 住居址の概要(407)

(二) 遺物の概要(408)

2 平出の泉とその周辺……………市指定

3 釜井庵とその周辺……………市指定

4 郷原宿の区画割と古井戸……………市指定

5 小丸山遺跡……………市指定

6 平出一里塚……………市指定

7 東山一里塚……………市指定

8 岩垂の高札場……………市指定

9 北熊井城跡……………市指定

第二節 名勝

1 八ヶ岳中信高原国定公園……………国指定

2 塩嶺王城県立公園……………県指定

3 長興寺庭園……………市指定

第三節 天然記念物

1 小野・矢彦神社社叢……………県指定

2 飯綱稲荷神社樹叢……………市指定

3 釜之沢マルバノキ自生地……………市指定

4 大宮八幡のイチイ……………市指定

5 相吉のシタレグリ自生地……………市指定

6 池生神社社叢……………市指定

7 床尾神社のアサゲ大木群……………市指定

8 東漸寺のシタレザクラ……………市指定

9 高出和手の大コブシ……………市指定

第二章 建築

第一節 社寺建築概説

1 社寺建築の概要……………市指定

(一) はじめに(419)

(二) 建築年代・様式について(419)

(三) 工匠について(422)

第二節 社寺建築個別説明

1 小野神社本殿・八幡宮本殿・勅使殿……………県宝

2 北熊井諏訪社本殿……………市指定

3	阿禮神社本殿	四三
4	釜井庵	四三
5	槻井泉神社本殿	四三
6	大日堂	四三
7	永福寺旭観音堂	四四
8	慈眼山心念堂	四五
9	郷福寺表門	四六
10	伊夜彦社本殿	四六
11	長興寺山門	四六
12	東漸寺本堂	四七
13	牛伏寺観音堂・仁王門・如意輪堂・本坊	四八
14	床尾神社本殿	四八
第三節 民家概説		
1	農家	四四一
	(一) 茅葺から板葺へ (41)	四四一
	(二) 古い農家の間取 (41)	四四一
	(三) 江戸中・後期の農家の間取 (42)	四四一
2	町家	四四三
	(一) 宿駅の町家の形式 (43)	四四三
	(二) 本陣・脇本陣・問屋の建築 (44)	四四三
	(三) 町家の間取 (44)	四四三
	四 二階の発達と瓦葺の町家 (45)	四四三
第四節 民家個別説明 (農家)		
1	小松家住宅	四四六
国重文		
第五節 民家個別説明 (町家)		
1	小野家住宅	四五八
2	上條家住宅 (旧塩尻峠茶屋本陣)	四五八
3	田中明三家住宅・中野藤蔵家住宅	四五九
4	小林一弘家住宅	四六〇
5	秋山明平家住宅	四六一
6	赤羽弘家住宅	四六三
7	赤羽直治家住宅	四六三
8	小林直樹家住宅	四六四
9	山田耕家住宅	四六五
10	務台与家住宅 (洗馬宿本陣遺構)	四六六
第三章 美術工芸		
第一節 彫刻		
1	牛伏寺木造十二面観音立像及び両脇侍像	四六七
(1)	中尊十二面観音立像 (467)	四六七
(2)	脇侍不動明王立像 (468)	四六七
(3)	脇侍毘沙門天立像 (468)	四六七
国重文		

2	牛伏寺木造釈迦如来坐像及び兩脇侍像	……	国重文	……	四九六
(1)	中尊釈迦如来坐像(469)	……		……	四九六
(2)	脇侍騎獅文殊菩薩像(470)	……		……	四九六
(3)	脇侍騎象普賢菩薩像(470)	……		……	四九六
3	牛伏寺木造薬師如来坐像	……		……	四七七
4	牛伏寺木造大威德明王騎牛像	……		……	四七七
5	牛伏寺木造如意輪觀音坐像	……		……	四七七
6	牛伏寺木造蔵王権現立像	……		……	四七七
7	真正寺木造大日如来坐像	……		……	四七七
8	常光寺木造如意輪觀音坐像	……		……	四七七
9	懸仏残闕	……		……	四七五
10	牛伏寺木造奪衣婆坐像	……	県宝	……	四七五
11	牛伏寺木造地藏菩薩半跏像	……		……	四七五
12	牛伏寺木造十王坐像 付司命・司録半跏像	……		……	四七六
第二節 金 工					
1	柴宮銅鐸	……	県宝	……	四七七
2	宗賀野辺沢出土 毛抜型太刀	……		……	四七六
3	菫蒲沢出土 鏝口	……		……	四七六
4	広丘堅石出土 瑞花双鳥八稜鏡	……		……	四七九
5	宗賀床尾出土 瑞花双鳥八稜鏡	……		……	四七九
6	宗賀野辺沢出土 瑞花双鷲八稜鏡	……		……	四七九
7	小野神社 古鏡三面	……		……	四八〇
(1)	秋草水禽模様鏡(481)	……		……	四八〇
(2)	松葉鳥模様鏡(481)	……		……	四八〇
(3)	芦模様鏡(481)	……		……	四八〇
8	広丘吉田出土 鉄製護摩炉	……		……	四八二
9	小野神社の鐸鉢(神代鉢)	……	市指定	……	四八三
10	小野神社の梵鐘	……	市指定	……	四八三
11	無量寺の半鐘	……	市指定	……	四八三
第三節 石 造 物					
1	中挾遺跡出土の玉類(装身具)	……	市指定	……	四八五
2	大宮八幡宮宝塔	……		……	四八六
3	道祖神	……		……	四八七
4	庚申塔	……		……	四八九
5	馬頭觀音	……		……	四九一
6	石 碑	……		……	四九三
第四節 陶 器					
1	平出遺跡出土 緑釉水瓶	……	県宝	……	四九五
2	吉田川西遺跡土壙出土品	……	国重文	……	四九四
3	堅石出土 緑釉の皿	……		……	四九五
4	菫蒲沢 瓦塔	……		……	四九五
5	焼町遺跡出土 焼町土器	……		……	四九六
6	平出遺跡出土 平出三A土器	……		……	四九七
7	平出遺跡出土 埋甕	……		……	四九七
8	洗馬 焼	……		……	四九八
9	東漸寺の奥田信齋作品	……	市指定	……	五〇〇
10	入道 焼	……	市指定	……	五〇一
第五節 衣 類					
1	西福寺開山和尚の袈裟	……	市指定	……	五〇三

第六節 典籍・古文書

1 常光寺の古写経 市指定 五三

2 原家古文書 五四

第七節 絵 画

1 樋口探月 五五

2 川窪蘭涯 五五

第四章 無形文化財

1 小野神社のねんじり棒祭り 市指定 五六

2 南内田のささら踊り 市指定 五六

3 南内田のオンパシラ 五七

4 その他 五八

(1) 神楽・獅子舞・湯立て神楽 (508)

(2) 屋台・舞台と囃子 (509)

(3) 火を用いる儀礼 (510)

参考・引用文献 五二

第二 史・資料

一 原 始

(一) 塩尻市遺跡地名表 五五

(二) 塩尻の原始・古代編 文献目録 五三

二 古代・中世

一 大宝二(七〇二)年十二月十日、始メテ美濃國岐蘇山道ヲ開

ク 五六五

二 和銅 六(七二二)年 七月 七日、信濃・美濃ノ國界、徑道險隘ナルヲ以テ、吉蘇路ヲ通ス 五六五

三 和銅 七(七二四)年 十月 二日、信濃國等ノ民ヲ割キテ、出羽ノ柵戸ニ配ス 五六六

四 養老 五(七二二)年 六月 廿六日、信濃國ヲ割キテ、諏方國ヲ置ク、尋イテ、美濃安察使ノ管下トナス 五六六

五 天平 三(七三一)年 三月 七日、諏方國ヲ廃シテ信濃國ニ併ス 五六六

六 天平勝宝七(七五五)年 二月 廿二日、信濃國ノ防人部領使、京ニ向フ途上ニ病ヲ得、防人等ノ歌十二首ヲ上ル 五六七

七 延暦 八(七八九)年 五月 廿九日、筑摩郡ノ人外少初位下後部牛養、無位宗守豊人等、田河造ノ姓ヲ賜ハル 五六九

八 弘仁十四(八三三)年 九月 廿四日、信濃諸牧ノ貢馬ヲ武德殿ニ牽進ス 五六九

九 元慶 元(八七七)年 九月 廿五日、中臣、齋部兩氏人ヲ五畿七道諸國ノ神社ニ遣ハシテ幣ヲ班タシム 五七〇

二〇 元慶 三(八七九)年 九月 四日、縣坂山岑ヲ以テ信濃・美濃兩國ノ境界ト定ム 五七〇

二 元慶 五(八八二)年 十二月 廿八日、正六位上槻井泉神二從五

- 位下ヲ授ク……………五七
- 三 仁和 三（八八七）年 四月
 十三日、大納言藤原朝臣冬緒、老
 ヲ以テ致仕ス、是ヨリ先、筑摩郡
 蘇我郷草茂庄ヲ多武峰妙楽寺ニ
 施入ス……………五七
- 三 延長 五（九二七）年 頃
 倭名類聚鈔ニ良田・崇賀郷等記載
 サル……………五七
- 四 長和 三（一〇一四）年 十月
 廿三日、筑摩郡洗馬牧司忠明
 大納言藤原朝臣實資ニ馬ヲ
 送リ、別ニ牛・胡籬・大藁等ヲ貢
 ス……………五七
- 五 文治 二（一一八六）年 二月
 是月、後白河法皇、頼朝ヲシテ、
 信濃等關東知行國內、院宮領以下
 諸庄ノ未濟乃貢ノ備進ヲ督促セ
 シム……………五七
- 六 建久 二（一一九二）年 二月
 廿一日、頼朝、捧紀五近永ノ諏訪
 社下社領筑摩郡壙尻西條ノ所當
 ヲ懈怠スルヲ停メ、近永ヲシテ之
 ヲ辨濟セシム……………五七
- 七 嘉元 三（一二〇五）年 六月
 七日、是ヨリ先、赤木家忠ノ三男
 同忠光ノ子忠澄、家忠ノ嫡男同忠
 綱ノ子盛忠ト、家忠ノ遺領筑摩郡
 吉田郷内等ノ田屋敷ニツキ相論
 シ、和與ノ儀ヲ以ツテ忠澄、之ヲ
 領知ス、是日、幕府、之ヲ認ム
- 八 元亨 三（一二三三）年 七月
 廿七日、是ヨリ先、諏訪社下社大
 祝金刺時澄、同社領筑摩郡壙尻郷
 東條地頭壙尻重光ノ神役用途ヲ
 抑留スルヲ訴フ、是日、幕府、之
 ヲ裁シ、重光ヲシテ結解ヲ遂ゲ未
 進分ヲ辨濟セシム……………五七
- 三 南朝正平二・北朝貞和四（一二五七）年 四月
 廿六日、足利尊氏、小笠原貞宗
 ニ、筑摩郡壙尻・島立等信濃春近
 半分ノ地ヲ宛行フ……………五七
- 三 南朝正平十・北朝文和四（一二五九）年 八月
 廿五日、是ヨリ先、宗良親王、諏
 訪社上社並ヒニ下社祝・仁科某
 等ヲ率ヰテ、小笠原長基ノ軍ト信
 濃ニ戦ヒ、信濃ノ貢馬、京都ニ到
 來セズ、仍ツテ、北朝、駒牽ヲ延
 引ス、是日、之ヲ追行ス……………五七
- 三 南朝正平三・北朝貞治四（一二五九）年 五月
 十四日、小笠原長基、諏訪直頼ト
 筑摩郡壙尻金井ニ戦ヒ、之ヲ破
 ル、尋テ、明年正月、再ヒ合戦
 シ、長基ノ軍敗ル……………五七
- 三 南朝正平三・北朝貞治（一二五九）年 二月
 九日、小笠原長基、筑摩郡壙尻郷
 内東條ヲ、諏訪社下社ニ寄進ス

- 四 南朝弘和・北朝永徳(三六)年二月 十二日、小笠原清順、基、垣尻郷等ノ所領ヲ、子長秀二讓ル
..... 五六
- 五 南朝元中四・北朝嘉慶元(三六)年九月 廿六日、北黨諏訪頼寛、頼ノ兵、小笠原清順、基、ノ軍ト、筑摩郡熊井原ニ戦ヒテ敗ル、尋テ、信濃守護斯波義將、頼寛ノ軍忠ヲ褒ス..... 五六
- 六 応永 七(一四〇〇)年 六月 十一日、信濃守護小笠原長秀、諏訪社下社大祝ヲシテ、筑摩郡春近領鹽尻東西・小池東西・新村南方等ヲ安堵セシム..... 五六
- 七 応永二十五(一四一八)年 是歲、波多腰清勝、筑摩郡牛伏寺ノ堂竝ニ釋迦如来像ヲ修理ス..... 五六
- 八 応永二十八(一四二二)年 是歲、波多腰清勝、筑摩郡牛伏寺ノ大威徳明王像ヲ修理ス..... 五六
- 九 応永二十九(一四三二)年 三月 廿六日、波多腰清勝、筑摩郡牛伏寺ノ奪衣婆像ヲ造立ス..... 五六
- 一〇 宝徳 元(一四四九)年 八月 廿四日、諏訪社上社神人等、筑摩郡鹽尻ニ、同社下社神人ト戦ヒテ、之ヲ破ル..... 五六
- 一一 宝徳 三(一四五二)年 十月 五日、小笠原持長、諏訪社下社大祝ヲシテ、同社領熊井郷等ヲ安堵セシム..... 五六
- 一二 宝徳 三(一四五二)年 十月 十六日、小笠原持長、諏訪社下社大祝ヲシテ、同社領筑摩郡春近領鹽尻東西等ノ地ヲ安堵セシム
..... 五六
- 一三 長享 二(一四八八)年 七月 是月、諏訪社下社、春秋之宮造宮之次第ヲ注ス..... 五六
- 一四 永正十四(一五一七)年 六月 六日、信濃ノ僧、下總小金東漸寺開山愚底、經、寂ス..... 五六
- 一五 大永 三(一五三三)年 正月 是月、筑摩郡鉢伏權現ノ再建、成ル..... 五六
- 一六 天文十四(一五四五)年 六月 十三日、武田晴信、筑摩郡鹽尻ニ陣ヲ進ム..... 五六
- 一七 天文十七(一五四八)年 七月 十九日、是ヨリ先、諏訪郡西方衆矢嶋・花園等、小笠原長時ニ通ジ、武田晴信ニ叛ス、仍リテ晴信、諏訪郡ニ出陣ス、是日、晴信、長時ト筑摩郡鹽尻峠ニ戦ヒテ之ヲ破ル..... 五六
- 一八 天文十七(一五四八)年 十月 十四日、武田晴信、某ニ、筑摩郡内田・小池兩大宮禰宜職ヲ宛行フ..... 五六
- 一九 天文十九(一五五〇)年 七月 十五日、武田晴信、信濃府中ニ攻入り、小笠原長時ヲ筑摩郡林城ニ破ル..... 五六
- 二〇 天文二十一(一五五二)年 六月 八日、武田晴信、筑摩郡熊井城ノ

- 四 永祿 四(一五六二)年 五月 九日、武田信玄、筑摩郡長興寺ニ制札ヲ掲グ……………六二
- 四 永祿 四(一五六二)年 五月 十日、武田信玄、桃井六郎次郎ニ、筑摩郡内田及ヒ二子ノ地ヲ宛行フ……………六三
- 四 永祿 六(一五六三)年 三月 卅日、武田信玄、筑摩郡鹽尻宿ノ傳馬條規ヲ定ム……………六三
- 四 永祿 七(一五六四)年 十一月 是月、武田勝頼、筑摩郡小野社ノ銅鐘ヲ鑄ル、諏訪郡慈雲寺住持玄長、桂、ソノ銘ヲツクル……………六三
- 四 永祿 八(一五六五)年 十一月 十五日、武田信玄、筑摩郡西福寺ノ造營ニアタリ、寺領ヲ寄進ス……………六四
- 四 永祿 十(一五六七)年 十二月 廿六日、筑摩郡牛伏寺ノ追儼面、成ル……………六四
- 四 元龜 三(一五七二)年 六月 一日、武田信玄、筑摩郡長興寺ヲシテ、寺領ヲ安堵セシム……………六五
- 四 天正 三(一五七五)年 二月 五日、武田勝頼、筑摩郡長興寺ヲシテ、寺領ヲ安堵セシム……………六六
- 四 天正 四(一五七六)年 三月 廿四日、武田勝頼、筑摩郡西福寺ニ、同寺門前五間分ノ諸役ヲ免ズ……………六六
- 四 天正 六(一五七八)年 二月 二日、諏訪社下社、舊例ニ據リ、同社春秋兩宮ノ造宮所役ヲ注ス……………六六
- 五 天正 七(一五七九)年 三月 四日、是ヨリ先、南方久吉、熊井右馬丞ト、小野社造宮錢ニ就イテ争論シ、和談ス、是日、久吉、右馬丞ニ契狀ヲ送り、相互ノ取分ヲ定ム……………六五
- 五 天正 七(一五七九)年 三月 廿一日、備前、^{姓ヲ}筑摩郡小野社ニ、戸帳ヲ寄進ス……………六六
- 五 天正 八(一五八〇)年 八月 廿三日、筑摩郡西福寺住持殊白、^圭、總藝、才、ノ法衣ヲ宗英、^{長國}、ニ付與ス……………六七
- 五 天正 八(一五八〇)年 九月 十八日、筑摩郡西福寺住持殊白、^圭、頂相ニ贊ヲ加フ……………六七
- 五 天正 十(一五八二)年 三月 廿七日、織田信長、木曾義昌ヲシテ、所領ヲ領知セシム……………六七
- 五 天正 十(一五八二)年 六月 十二日、小笠原貞慶、徳川家康ノ援ヲ得テ、信濃ニ還住セントシ、後聽勅兵衛尉ニ忠節ヲ促ス……………六八
- 五 天正 十(一五八二)年 七月 十九日、是ヨリ先、小笠原貞慶、叔父同玄也、^貞種、ヲ攻メテ、筑摩郡深志城ヲ復シ、玄也ヲシテ越後ニ走ラシム、是日、貞慶、三村勘兵衛等ニ、筑摩郡洗馬ノ地ヲ宛行フ……………六八

癸 天正 十(一五八二)年 七月 廿日、是ヨリ先、小笠原貞慶、木

曾義昌卜筑摩郡本山ニ戦ヒ、貞慶

ノ臣犬甘治右衛門戦死ス、是日、

貞慶、治右衛門ノ弟久知ヲシテ、

ソノ名跡ヲ繼ガシム……………六五

丑 天正 十(一五八二)年 八月

七日、小笠原貞慶、筑摩郡西福寺

ニ、禪興寺分及ヒ諏訪郡慈雲寺分

ノ地ヲ寄進ス……………六三

卯 天正 十(一五八二)年 八月

小笠原貞慶、筑摩郡長興寺ヲシ

テ、寺領ヲ安堵セシメ、同郡祝梅

庵ニ寺領ヲ寄進ス……………六三

辰 天正 十(一五八二)年 九月

廿四日、犬飼貞知、岩垂忠助ヲシ

テ、筑摩郡郷原ノ地ヲ安堵セシム

……………六三

巳 天正 十一(一五八三)年 三月

廿四日、小笠原貞慶、溝口貞秀

ニ、筑摩郡鹽尻・北熊井ノ地ヲ宛

行フ……………六三

午 天正 十一(一五八三)年 四月

九日、小笠原貞慶、小澤縫殿介

ニ、中挟村等ノ地ヲ宛行フ……………六三

癸 天正十六(一五八八)年 二月 十五日、某、筑摩郡小野社ニ、戸

帳ヲ寄進ス……………六四

丑 天正十七(一五八九)年 三月 七日、小笠原貞慶、大和兵部衛門

等ニ、筑摩郡吉田ノ雅楽丞、

分ノ地ヲ給ス……………六四

卯 天正十七(一五八九)年 七月 十一日、小笠原貞政、岩垂忠助ニ

筑摩郡新村ノ地ヲ宛行フ……………六五

辰 天正十八(一五九〇)年 八月 卅日、石川康正、筑摩郡長興

寺ニ禁制ヲ掲グ……………六五

巳 天正十九(一五九二)年十一月 廿三日、石川康正、數ノ臣安倍

子源左衛門等、伊那郡小野村北方

三十五貫文ノ地ヲ毛利秀頼方ニ

渡ス……………六六

午 慶長 六(一六〇二)年 十月 廿七日、大久保長安、中仙道木曾

賢川ヨリ伊那郡小野ヲ經テ下諏

訪ニ街道ヲ通セシメントシ、山村

道勇、良、ヲシテ小野新町ヲ開カ

シム……………六七

未 慶長 十(一六〇五)年 五月 廿六日、筑摩郡牛伏寺憲恰、大般

若經ニ識語ヲ加フ……………六八

申 慶長十三(一六〇八)年 二月 廿六日、筑摩郡牛伏寺憲康、是

頃、大藏經ヲ閲讀ス、是日、ソノ

内ノ大般涅槃經ニ識語ヲ加フ……………六八

酉 天正十四(一五八六)年 三月 三日、保科正直、三村勝親ニ、本

領安堵ヲ約ス……………六三

戌 慶長十四(一六〇九)年 六月 廿七日、筑摩郡西福寺住持宗永、

長、同寺開山殊白、^註ノ書スル
出家略作法文等ニ奥書ヲ加フ
……………六三

五 慶長十四（一六〇九）年 八月 十三日、越前慈眼寺住持某、筑摩郡定光寺住持某ニ、慈眼寺へ、輪住ヲ請フ……………六三

六 慶長十七（一六一二）年 三月 六日、筑摩郡牛伏寺、焼ク……………六三

七 慶長十九（一六一四）年 四月 十日、安曇・筑摩兩郡高帳、成ル……………六四

八 慶長十九（一六一四）年 七月 十三日、小笠原秀政、小野七左衛門・小林彌右衛門ヲ筑摩郡本山問屋トナス……………六四

九 元和 元（一六一五）年 三月 小笠原秀政、筑摩郡小野社ニ御戸帳ヲ奉納ス……………六五

一〇 元和 元（一六一五）年 閏六月 十日、某直繼、^{關姓ヲ}和田主殿助ヲシテ、筑摩郡郷原等ノ地ヲ知行セシム……………六五

一一 元和 二（一六一六）年 十一月 是月、幕府、塩尻宿等中山道ノ諸宿ニ、傳馬條目ヲ出ス……………六六

一二 元和 三（一六一七）年 十二月 十五日、松平（戸田）康長、筑摩郡小野宮ニ神領ヲ寄進ス……………六六

一三 寛永 二（一六二五）年 十一月 十五日、戸田康長、筑摩郡西福寺、寺ヲ開クニヨリ、寺地ヲ寄進ス……………六六

一四 寛永 八（一六三二）年 閏十月 一日、關七郎左衛門等、筑摩郡小野宮ニ、明日、戸田康長息災祈念ノタメ、神前ニ於イテ湯立ヲ行フベキヲ命ズ……………六六

一五 寛永 十（一六三三）年 三月 廿八日、藤枝善丞、筑摩郡小野社ニ御戸帳箱ヲ寄進ス……………六六

一六 寛永十五（一六三八）年 二月 廿三日、松平直政、筑摩郡小野社ヲシテ、社領ヲ安堵セシム……………六六

一七 寛永十五（一六三八）年 三月 一日、松平直政、筑摩郡西福寺・小野社等ニ、舊ノ如ク寺社領ノ諸役ヲ免ズ……………六六

一八 寛永十六（一六三九）年 正月 廿日、堀田正盛、小野宮領内寺社ニ、地ヲ寄進ス……………六六

一九 寛永十六（一六三九）年 二月 十日、堀田正盛、筑摩郡小野社ニ、遷宮ノ御柱祭禮ノ費用ヲ寄進ス……………六六

二〇 寛永十七（一六四〇）年 八月 廿一日、鳥居忠春、筑摩郡長興寺ニ寺領ヲ寄進ス……………六六

三 近 世

二一 天正十八年 七月 豊臣秀吉信濃国知行割（松本領）……………六四七

二二 慶長 六年 八月 筑摩郡内田村真綿金納願（松本領）……………六四七
二三 慶長十九年 二月 小笠原秀政筑摩郡塩尻宿賦賃定書（松本領）……………六四七

四	慶長十九年	四月	大和小兵衛宛小笠原秀政申渡状 (松本領)	六四七
五	慶長十九年	五月	小笠原秀政筑摩郡郷原宿伝馬定書 (松本領)	六四八
六	慶長十九年	五月	小笠原秀政領内代官条規 (松本領)	六四八
七	慶長十九年	五月	小笠原秀政領内法度 (松本領)	六四八
八	慶長十九年	五月	小笠原秀政領内法度 (松本領)	六四九
九	慶長十九年	六月	小笠原秀政領内法度 (松本領)	六四九
一〇	慶長十九年	八月	小笠原秀政領内法度 (松本領)	六五〇
一一	慶長十九年	十一月	小笠原秀政欠落百姓還住定 (松本領)	六五〇
一二	慶長十九年	十二月	筑摩郡内田郷牛伏寺宛小笠原秀政寺領寄進状 (松本領)	六五〇
一三	慶長二十年	三月	小笠原秀政領内法度 (松本領)	六五〇
一四	慶長二十年	三月	小笠原秀政榑木高崎送申付状 (松本領)	六五〇
一五	慶長二十年	三月	小笠原秀政榑木高崎送申付状 (松本領)	六五〇
一六	元和三年	十月	戸田康長領知目録 (松本領)	六五五
一七	元和三年	十一月	戸田康長松本城受取証文 (松本領)	六五五
一八	元和四年	六月	筑摩郡本洗馬村長興寺宛保科正光寺領安堵状 (高遠領)	六五五
一九	元和四年	十一月	諏訪頼水宛徳川秀忠筑摩郡五千石加増領知状 (高島領)	六五五
二〇	元和四年		保科正光筑摩郡五千石加増 (高遠領)	六五五
二一	寛永三年	十月	筑摩郡小池村・内田村境論等留書 (高島領)	六五五
二二	寛永三年	十二月	筑摩郡本洗馬村年貢小手形 (高遠領)	六五五
二三	寛永四年	五月	筑摩郡洗馬村熊谷九八郎給來証文 (高遠領)	六五五
二四	寛永六年	二月	戸田康長領外付出荷駄貫目定書 (松本領)	六五五
二五	寛永八年	八月	筑摩郡本洗馬村山伏僧都免許状 (高遠領)	六五五
二六	寛永八年	八月	筑摩郡本洗馬村山伏院号免許状 (高遠領)	六五五
二七	寛永八年	閏十月	筑摩郡本洗馬村等貸付租代金請取手形 (高遠領)	六五五
二八	寛永十三年	三月	筑摩郡小野社大祝家門拔証文 (松本領)	六五五
二九	寛永十四年	八月	筑摩郡本洗馬村山伏桃地袈裟免許状 (高遠領)	六五五
三〇	寛永十五年	二月	惣家中宛松平直政書状 (松本領)	六五五
三一	寛永十五年	三月	筑摩郡小野村小野社大祝宛松平直政諸役免許状 (松本領)	六五五
三二	自寛永十九年	二月	筑摩郡塩尻宿御定賃錢書付 (松本領)	六五五
三三	寛永十九年	九月	堀田正盛町在関所万覚書 (松本領)	六五五
三四	正保二年	七月	筑摩郡本洗馬村物成勘定目録 (高遠領)	六五五
三五	慶安元年	三月	水野忠職百姓法度 (松本領)	六六〇
三六	慶安二年	八月	筑摩郡洗馬村長興寺宛徳川家光寺領安堵状 (高遠領)	六六〇

七	慶安 五年 八月	水野忠職法度請狀(松本領)	………	六二
八	寬文 元年十一月	筑摩郡北熊井村喜左衛門組皆済目録(高島領)	………	六三
九	寬文 三年十二月	筑摩郡惣洗馬組屋連上請取証文(高遠領)	………	六三
一〇	寬文 四年 六月	水野忠職領内法度(松本領)	………	六三
一一	寬文 五年 三月	筑摩郡南熊野井村宗門五人組帳(高島領)	………	六三
一二	寬文 五年 三月	筑摩郡南熊野井村宗門改帳(高島領)	………	六三
一三	寬文 五年 九月	塩尻峠領界山論裁許狀(松本領)	………	六五
一四	寬文 七年 三月	桜沢山領界山論裁許請書(松本領)	………	六六
一五	寬文 七年 三月	筑摩郡小野村分地以後の納山手覚(松本領)	………	六六
一六	寬文 九年閏十月	水野忠直領内法度(松本領)	………	六七
一七	寬文十一年 八月	筑摩郡赤木山山論訴狀(高島領)	………	六九
一八	寬文十一年 十月	筑摩郡赤木山山論申渡請書(高島領)	………	六九
一九	寬文十二年 八月	筑摩郡赤木山山論裁許狀(高島領)	………	六九
二〇	寬文十二年 九月	高島領年貢收納定(高島領)	………	六七
二一	寬文十二年十二月	筑摩郡本洗馬村熊谷九兵衛榎未進分借用証文(高遠領)	………	六七
二二	寬文十三年 三月	筑摩郡床尾村等八カ村猪追鉄砲許可願(松本領)	………	六七
二三	延宝 元年十二月	筑摩郡本洗馬村九郎助質地証文(高遠領)	………	六七
二四	延宝 二年 十月	諏訪忠晴儉約触(高遠領)	………	六七
二五	延宝 二年十二月	筑摩郡本洗馬村喜三郎田地壳渡証文(高遠領)	………	六七
二六	延宝 八年 正月	水野忠直家中法度(松本領)	………	六七
二七	延宝 九年 二月	諏訪忠晴郡中不作につき触書(高島領)	………	六七
二八	天和 三年	筑摩郡小野社御柱山起請文(松本領)	………	六七
二九	貞享 二年	木曾路之記(抄)	………	六七
三〇	貞享 三年 五月	高島領完米前金請取証文(高島領)	………	六七
三一	貞享 四年 五月	筑摩郡四沢山領界山論訴狀(高島領)	………	六八
三二	貞享 四年十一月	筑摩郡北熊井村・高出村野論裁許狀(高島領)	………	六八
三三	元禄 元年十二月	筑摩郡四沢山領界山論裁許狀(高島領)	………	六八
三四	元禄 三年 三月	筑摩郡本洗馬村檢地起請文前書(高遠領)	………	六八
三五	元禄 三年 十月	捨子等禁止触書(松本領)	………	六七
三六	元禄 三年	筑摩郡岩垂原入会村々野手米定(高遠領)	………	六七
三七	元禄 三年	筑摩郡小曾部山入会村々山手米定(高遠領)	………	六七
三八	元禄 七年 二月	中仙道塩尻宿助郷帳(松本領)	………	六七
三九	元禄 七年 二月	中仙道本山・洗馬兩宿助郷帳(松本領)	………	六七
四〇	元禄 十年 四月	筑摩郡南熊井村檢地目録(高島領)	………	六七

- 七 元禄 十年十一月 南塩差留刃傷一件馬士口上書(高島領)……………六〇
- 三 元禄十一年 正月 南塩差留刃傷にて解死人の妻子訴状(高島領)……………六〇
- 三 元禄十一年 二月 南塩差留刃傷一件返答書(高島領)……………六一
- 四 元禄十一年 八月 出穀・南塩御法度請書(松本領)……………六三
- 五 元禄十一年十二月 南塩刃傷事件裁許状(高島領)……………六三
- 六 元禄十五年十二月 信濃国郷帳(全領)……………六四
- 七 元禄十六年 五月 筑摩郡塩尻宿明細帳(松本領)……………六五
- 八 元禄十六年 七月 筑摩郡高出村持山・入会山書上帳(松本領)……………六六
- 九 元禄十六年 七月 筑摩郡堅石村持山・入会山書上帳(松本領)……………六六
- 六 元禄十六年 七月 筑摩郡床尾村持山・入会山書上帳(松本領)……………六六
- 六 元禄十六年 十月 筑摩郡桔梗ヶ原入会裁許状(松本領)……………六七
- 六 元禄十六年十一月 筑摩郡桔梗ヶ原松林山手証文并請取手形(松本領)……………六七
- 三 元禄十七年 二月 筑摩郡桔梗ヶ原入会境八方村請書(松本領)……………六九
- 六 元禄十七年 二月 筑摩郡洗馬町村地改請証文(高遠領)……………六九
- 六 宝永 三年 八月 筑摩郡北熊井村忠兵衛別家証文(高島領)……………七〇
- 六 宝永 三年 十月 塩尻組七方村小曾部山入会差留解除願(高遠領)……………七〇
- 七 宝永 五年 四月 筑摩郡小曾部村御物成残米金納願(高遠領)……………六一
- 六 宝永 五年十一月 筑摩郡吉田村畑斗代下げ検地願(松本領)……………六一
- 八 正徳 元年 五月 筑摩郡洗馬宿御定貨錢書上(松本領)……………六三
- 六 正徳 元年 五月 北国脇往還各宿駄賃并人足賃定(松本領)……………六三
- 六 正徳 四年十二月 追鳥狩法度(松本領)……………六三
- 六 正徳 六年 四月 塩尻組五方村入会山山の口取極願(松本領)……………六四
- 三 享保 二年 二月 筑摩郡床尾村新切斗代上等検地請書(松本領)……………六五
- 四 享保 三年 五月 不作統きにつき儉約申渡(松本領)……………六五
- 五 享保 三年 七月 筑摩郡南熊井村検地目録(高島領)……………六六
- 六 享保 九年 二月 村々神主宛小野神社神主操人形許可願(松本領)……………六六
- 七 享保 十年 九月 筑摩郡本山口留番所願書(松本領)……………六六
- 六 享保 十年 十月 水野忠恒改易申渡(松本領)……………六八
- 九 享保 十年 十月 水野忠恒改易につき幕府条目(幕府領)……………六九
- 八 享保 十年十一月 筑摩郡棧敷村国役金請取証文(幕府領)……………七〇
- 三 享保十一年 四月 戸田光慈領内法度(松本領)……………七〇
- 三 享保十二年 六月 筑摩郡北小野村荻谷沢山石灰運上約定書(幕府領)……………七〇

二〇三 享保十三年 二月 筑摩郡今村等小曾部山入会訴狀 (高遠領) ……七〇一

二〇六 宝曆十四年 三月 筑摩郡南内田村威鉄砲預り証文 (高島領) ……七二七

二〇四 享保十三年 六月 筑摩郡吉田村等小曾部山入会訴狀 (高遠領) ……七〇一

二〇九 自宝曆十四年五月 筑摩郡岩垂村御領私領取替証文留 (松本御領) ……七二七

二〇五 享保十四年 七月 筑摩郡小曾部山入会山論裁許狀 (高遠領) ……七〇一

二一〇 明和 元年十二月 信濃国村々中馬荷物等出入申渡書 (全県) ……七一九

二〇六 享保十六年 二月 筑摩郡原新田村村定 (松本領) ……七〇四

二一三 明和 二年 六月 塩尻峠並木新開植付并御免願 (松本御領) ……七三三

二〇七 享保十八年十二月 追鳥狩廻狀 (松本領) ……七〇四

二一四 明和 六年 三月 筑摩郡北熊井村御成箇勘定帳 (高島領) ……七三三

二〇八 元文 四年十二月 筑摩郡塩尻十四力村安石代願 (松本御領) ……七〇四

二一五 安永 二年 九月 東五千石村々中馬數書上 (高島領) ……七四〇

二〇九 寛保 三年十一月 戸田光雄宛御預所申付狀 (松本御領) ……七〇五

二一六 安永 七年 四月 松本御預領檢地条目 (松本御領) ……七三七

二一〇 寛保 四年 二月 筑摩郡本洗馬村次郎七親子欠落につき五人組頭連印証文 (高遠領) ……七〇六

二一七 安永 九年十二月 筑摩郡北小野村請勝弦新田檢地帳 (松本御領) ……七三八

二一一 延享 元年 四月 松本御預所村方条目 (松本御領) ……七〇六

二一八 天明 三年 五月 白井秀雄本洗馬滞留門人政員日記 (高遠領) ……七三九

二一二 延享 元年 九月 筑摩郡本山口留番所定書 (松本御領) ……七〇六

二一九 天明 三年 九月 中・下西条村儉約村定 (松本御領) ……七三三

二一三 延享 元年 十月 筑摩郡洗馬宿明細帳 (松本御領) ……七〇六

二二〇 天明 四年 七月 筑摩郡塩尻町村等十二力村凶作定書 (松本御領) ……七三三

二一四 延享 元年 十月 松本領口留番所并殺留・南塩禁止触 (松本御領) ……七〇六

二二一 天明 四年 十月 筑摩郡本山町村年貢割付 (松本御領) ……七三三

二一五 宝曆 三年 三月 高島領名主役年季并拔高停止触 (高島領) ……七〇七

二二二 天明 四年 十月 筑摩郡本山町村年貢割付 (松本御領) ……七三三

二一六 宝曆 四年十二月 筑摩郡南内田村猪防敵懸け割帳 (高島領) ……七〇七

二二三 天明 五年 三月 筑摩郡本山町村年貢皆済目録 (松本御領) ……七三三

二一七 宝曆十三年十一月 筑摩郡北熊井村御成箇本帳 (高島領) ……七〇七

二二四 天明 五年 三月 筑摩郡本山町村年貢皆済目録 (松本御領) ……七三三

- 一三 天明 五年十一月 筑摩郡北内田村諸品暮值段付帳 (高島領) 七三六
- 一三 天明 七年 九月 筑摩郡北内田村天井・板敷付家数改 (高島領) 七三七
- 一四 寛政 二年 十月 筑摩郡桔梗ヶ原入会定書 七三七
- 一五 寛政 三年 二月 筑摩郡北熊井村明細帳 (高島領) 七三八
- 一六 寛政 三年 五月 大庄屋宛戸田光行申達 (松本領) 七三三
- 一七 寛政 三年 五月 庄屋勤役心得書 (松本領) 七三三
- 一八 寛政 三年 五月 村役人宛戸田光行申達 (松本領) 七三四
- 一九 寛政 三年 五月 惣百姓宛戸田光行申達 (松本領) 七三四
- 二〇 寛政 三年 五月 惣町人宛戸田光行申達 (松本領) 七三六
- 二一 寛政 三年 五月 婦女宛戸田光行申達 (松本領) 七三六
- 二二 寛政 八年十一月 筑摩郡勝弦山領界山論濟口証文 (松本御預所) 七三九
- 二三 寛政 十一年 二月 筑摩郡岩垂村村定 (松本御預所) 七五一
- 二四 享和 元年 五月 筑摩郡本山宿明細書上帳 (松本御預所) 七五三
- 二五 享和 二年 四月 太田南畝 壬戌紀行 (抄) 七五五
- 二六 享和 二年十一月 筑摩郡南熊井村新開檢地目録 (高島領) 七五七
- 二七 享和 三年 六月 筑摩郡本山宿等中馬荷物口銭取極 (松本御預所) 七五七
- 二八 享和 三年 八月 筑摩郡塩尻宿等三宿飯売女御法度願 (松本御預所) 七五六
- 二九 文化 元年 十月 筑摩郡北内田村吉蔵見せ物興行約定書 (百瀬知) 七五六
- 一〇 文化 三年 五月 高島領世話役・村役人へ申渡 (高島領) 行所) 七五九
- 一一 文化 三年十一月 筑摩郡南内田村万值段帳 (高島領) 七六〇
- 一二 文化 四年 二月 筑摩郡小曾部村宗門改帳前書 (高遠領) 七六一
- 一三 文化 五年 正月 筑摩郡本山口番所通行手形下付願 (松本御預所) 七六三
- 一四 自文化 五年 四月 筑摩郡中挾村中村又左衛門御目見留 (高島領) 七六三
- 一五 文化 八年 十月 筑摩郡勝弦山領界山論濟口証文 (松本御預所) 七六三
- 一六 文化 十年 三月 筑摩郡北小野村と伊那郡南小野村石灰焼一件内濟証文 (松本御預所) 七六四
- 一七 文化 十一年 七月 十返舎一九等遊歴記 七六五
- 一八 文化 十一年 九月 筑摩郡中挾村名主引継目録 (高島領) 七六六
- 一九 文化 十一年十一月 筑摩郡洗馬・本山・塩尻三宿飯売女差留願始末記 (松本御預所) 七六六
- 二〇 文化 十二年十一月 筑摩郡北小野村等石灰焼新竈停止願 (松本御預所) 七六三
- 二一 文化 十二年十二月 筑摩郡北熊井村追鳥人別書上 (高島領) 七七三
- 二二 文化 十四年 三月 筑摩郡本洗馬村修験密藏院宗旨証文 (高遠領) 七七五
- 二三 文化 十四年十二月 筑摩郡西洗馬村琵琶橋水代橋料金取扱帳 (高遠領) 七七五

一四 文政 元年 七月 東五千石村々と村井宿中馬出入訴狀 (高島領) (松本領) 七七五

一五 文政 元年 十月 東五千石村々と村井宿中馬出入濟口証文 (高島領) (松本領) 七七七

一六 文政 二年 二月 筑摩郡平出村等石灰代金出入濟口証文 (松本御預所) 七七八

一七 文政 三年十一月 筑摩郡洗馬宿志村勘之丞砥石山稼取極証文 (松本御預所) 七九〇

一八 自文政十四年正月至天保十三年十二月 筑摩郡洗馬宿貫目改所認方雛形 (松本御預所) 七九〇

一九 文政 五年 二月 松本領吉田村儀兵衛倅宗門退狀 (高島領) 七九一

二〇 文政 五年十一月 洗馬騷動捕方次第書 (高遠領) 七九二

二一 文政 六年 七月 洗馬騷動裁許申渡書 (高遠領) 七九三

二二 文政 七年 二月 三千石・二千石村方廻廻狀順 (高島領) 七九四

二三 文政 七年 二月 筑摩郡中西条村吉右衛門石灰産年季讓証文 (松本御預所) 七九四

二四 文政 九年 正月 筑摩郡北熊井村村定 (高島領) 七九六

二五 文政 九年 十月 筑摩郡北内田村長百姓役入札内濟規定書 (高島領) 七九五

二六 文政 十年閏六月 筑摩郡本山宿旅籠屋取極 (松本御預所) 七九六

二七 文政十一年十一月 東五千石村々と村井宿中馬出入濟口証文 (高島領) (松本領) 七九六

二八 文政十一年十一月 筑摩郡本洗馬村等上覽相撲番組 (高遠領) (松本領) 七九八

二九 自文政十二年二月至嘉永二年十二月 筑摩郡洗馬宿増賃錢書上 (松本御預所) 七九九

三〇 文政十二年 正月 筑摩郡四十七力村中馬仲間規定 (全領) 七九九

三一 天保 三年十二月 東五千石村々と村井宿中馬出入濟口証文 (高島領) 八〇〇

三二 天保 四年十二月 筑摩郡本洗馬村年貢目録 (高遠領) 八〇〇

三三 天保 七年 正月 中馬牛士仲間規定 (埴原知行所) 八〇一

三四 天保 七年 筑摩郡北熊井村飢饉留書 (高島領) 八〇二

三五 自天保十三年至同十二年 筑摩郡洗馬宿本陣永統金拝借願 (松本御預所) 八〇三

三六 天保十二年 正月 筑摩郡中挟村喜七郎役家取立証文 (高島領) 八〇四

三七 天保十三年 二月 筑摩郡吉田村平次郎鑄掛職免許請証文 (松本御預所) 八〇五

三八 天保十三年 九月 筑摩郡麻績宿外北国脇往還宿々定書 (松本御預所) 八〇六

三九 自天保十三年至明治十二年 筑摩郡北熊井村浜家作物取揚帳 (高島領) 八〇七

一三	天保十五年 四月	高島領村役人入札触書(高島領)	………	一三三	安政 五年 五月	筑摩郡塩尻宿飯売女奉公人請状(松本御預所)	………	一三三
一四	天保十五年 七月	筑摩郡小野社・伊那郡矢彦社境論裁許請証文 (松本御預所)	………	一三四	安政 五年十二月	筑摩郡原新田村村定(松本領)	………	一三四
一五	安政 年中	中山道塩尻・洗馬・本山宿宿村大概帳(松本御預所)	………	一三五	元治 二年 二月	筑摩郡南内田村若者連名帳(高島領)	………	一三五
一六	弘化 三年閏五月	筑摩郡野村平右衛門店商許可願(松本領)	………	一三六	慶応 二年 八月	筑摩郡南熊井村木曾騷動覚書(高島領)	………	一三六
一七	弘化 四年 二月	高島領三千石村々人数帳(高島領)	………	一三七	慶応 二年 八月	筑摩郡下今井村木曾騷動届書(松本御預所)	………	一三七
一八	嘉永 三年 九月	筑摩郡原新田村・野村秣場出入内済証文(松本領)	………	一三八	慶応 二年 八月	筑摩郡上西条村地主歎願書(松本御預所)	………	一三八
一九	嘉永 四年 四月	筑摩郡北小野村石灰稼出入済口証文(松本御預所)	………	一三九	慶応 二年十二月	筑摩郡上西条村地主歎願書(松本御預所)	………	一三九
二〇	嘉永 六年 二月	筑摩郡中挾村名主役人札連印証文(高島領)	………	一四〇	慶応 三年 正月	筑摩郡上西条村小作料引方出入吟味願下(松本御預所)	………	一四〇
二一	嘉永 六年 九月	穀類五千駄付出大手形(高島領)	………	一四一	慶応 三年 十月	木曾騷動棟梁左源太御仕置申付書(松本御預所)	………	一四一
二二	嘉永 六年 九月	穀類三千駄付出大手形(高島領)	………	一四二	慶応 三年 十一月	筑摩郡本山口番所出穀大手形(松本御預所)	………	一四二
二三	嘉永 七年 六月	高島領三千石御成簡糧目録(高島領)	………	一四三	慶応 四年 正月	農商宛東山道鎮撫總督触(全領)	………	一四三
二四	嘉永 七年 七月	塩尻峠入会秣場規定書(松本御預所)	………	一四四	慶応 四年 五月	駅通役所中山道宿助郷組替達(全領)	………	一四四
二五	安政 元年十二月	高島領三千石御成簡勘定目録(高島領)	………	一四五	安政 三年十一月	代官替り目条目(埴原知行所)	………	一四五
二六	安政 三年十一月	代官替り目条目(埴原知行所)	………	一四六	安政 四年 十月	筑摩郡洗馬宿諸事書上帳(松本御預所)	………	一四六
二七	安政 四年 十月	筑摩郡洗馬宿諸事書上帳(松本御預所)	………	一四七	年次不詳 十二月	大庄屋原熊三郎宛徒士格免許状(高遠領)	………	一四七

四 明 治

五 明治 四年 正月 松本藩石地藏等取棄並道祖神社地移転回状……………八四二

一 明治 元年 三月 神仏号ノ區別ニ関スル太政官達……………八三七

二 明治 元年 九月 中山道宿々伝馬所宛駅通役所駅通規則触書……………八三七

三 明治 二年 正月 伊那県御用触書留帳(抄)……………八三七

四 明治 二年 二月 筑摩郡平出村総百姓村役人五年審判採用願……………八三六

五 明治 二年 三月 筑摩郡塩尻組村々塩尻役所造営并役人水勸願……………八三八

六 明治 二年 八月 桑上田植付禁止等につき伊那県塩尻局回達……………八三九

七 明治 二年 九月 信濃全国通用錢札発行伊那県布達……………八三九

八 明治 二年 十月 伊那県宛塩尻局信濃全国通用錢札増摺願……………八四〇

九 明治 三年 八月 筑摩郡八カ組村々塩尻出張所存置歎願書……………八四〇

一〇 明治 三年 八月 弁官宛松本藩知事神葬祭実施並無權無住寺院廢却願……………八四一

一一 明治 三年閏十月 松本藩知事士族卒神葬祭に改正諭告……………八四一

一二 明治 三年閏十月 伊那県塩尻出張所修験他宗引導禁止廻状……………八四一

一三 明治 三年十一月 塩尻出張所旧弊取締官員内密巡村方廻達……………八四二

一四 明治 三年十二月 弁官宛松本藩僧侶婦農並修験等授産婦俗方伺……………八四三

六 明治 四年 四月 京都府宛真言宗知積院筑摩郡十か寺出願につき松本藩廃寺政策緩和方歎願書……………八四二

七 明治 四年 五月 官社以下定額等ニ関スル太政官布告……………八四三

八 明治 四年 六月 松本藩神葬祭改典につき盆行事廢止徹底方廻状……………八四四

九 明治 四年 六月 松本藩宛太政官寺院婦農勸諭緩和方達……………八四四

一〇 明治 四年 九月 戸長宛筑摩郡柿沢村旧村役人一族村役不正入札等改方取次願……………八四四

一一 明治 五年 三月 筑摩県宛筑摩郡岩垂村戸長等同一管内岩垂村合併願並請書……………八四五

一二 明治 五年 四月 県学・郷学校設立案につき筑摩県達……………八四五

一三 明治 五年 七月 筑摩県第六小校開校日誌……………八四六

一四 明治 五年 七月 筑摩県第六小校会計録……………八四七

一五 明治 六年 二月 学区取締堀内長十郎受持区(筑摩県)……………八四八

一六 明治 六年 五月 大藏省事務總裁宛筑摩県權令復飾修験等元除地収納額五分下渡方伺書……………八四九

一七 明治 六年 六月 新倉濱次郎「学校諸事控」……………八四九

一八 明治 六年 九月 堀内長十郎下問答議……………八五〇

一九 明治 七年 三月 内務卿宛筑摩県旧洗馬貫目改所学校用払下につき裁下伺……………八五一

二〇 明治 七年 五月 大門村地情景詳細帳……………八五二

二一 明治 八年十一月 人力車貸附証書……………八五三

二二 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

二三 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

二四 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

二五 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

二六 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

二七 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

二八 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

二九 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

三〇 明治 八年十一月 人力車貸渡規則……………八五三

- 三 明治 九年 三月 筑摩県宛筑摩郡塩尻村下条文平等人力車検印願……………八六六
- 三 明治 九年 七月 長野県人力車稼人内国通運会社加入申につき付達并同社人力車雜立規則布達……………八六六
- 四 明治 九年 六月 筑摩県学区取締青木禎一郎受持所……………八六七
- 五 明治 九年 筑摩郡南第五大区学校路線絵図……………八七二
- 六 明治 九年 八月 筑摩県筑摩郡松本町・塩尻駅間馬車運行許可につき老人等注意方布達……………八七三
- 七 明治 十年十一月 諏訪郡桔梗原開墾願書……………八七三
- 八 明治 十一年 二月 遊廓増地御願……………八七四
- 九 明治 十二年 四月 分離復旧に付塩尻村上申書……………八七四
- 一〇 明治 十二年 十月 広丘村分村願……………八七五
- 一一 明治 十三年 一月 東筑摩郡野村耕地会成議案……………八七六
- 一二 明治 十三年 六月 青木禎一郎口上書……………八七六
- 一三 明治 十三年 九月 塩尻村復旧分裂願書……………八七八
- 一四 明治 十三年 九月 塩尻嶺新路開墾願書……………八七八
- 一五 明治 十四年 四月 塩尻嶺新路開墾願書……………八八九
- 一六 明治 十五年 三月 果宛東筑摩郡塩尻町出火被害概略具狀書……………八九〇
- 一七 明治 十五年 三月 塩尻町出火焼失人名簿……………八九〇
- 一八 明治 十五年十一月 果宛南安曇郡高家村村民等東筑摩郡桔梗ヶ原開墾願……………八七一
- 一九 明治 十五年十二月 七道開墾果会決議布達并長野県道路開墾規程……………八七二
- 二〇 明治 十六年十二月 宗賀村復旧分村願書……………八七三
- 二一 明治 十七年 一月 果令宛道路開墾委員塩尻嶺路線取調復命書……………八七三
- 二二 明治 十七年 九月 内務卿宛果令第七路線諏訪郡・山梨県境起工許可並願……………八七七
- 二三 明治 十八年 四月 東筑摩郡片丘村小作慣行調……………八七七
- 二四 明治 十九年 五月 内務大臣宛果令第七路線延長塩尻嶺開墾許可伺……………八七八
- 二五 明治 二十一年八月 道路改修費献納の議定……………八七九
- 二六 明治 二十一年八月 町村分合上申書……………八七九
- 二七 明治 二十二年五月 塩尻村会議事録……………八八二
- 二八 明治 二十二年七月 洗馬村會議員補欠選挙無効裁決書……………八八二
- 二九 明治 二十二年十一月 宗賀村区会条例……………八八三
- 三〇 明治 二十五年四月 塩尻村会選挙録……………八八四
- 三一 同 明治 二十五年 七道開墾事業経過概要……………八八六
- 三二 明治 二十七年二月 里道修繕二付寄附金募集額……………八八六
- 三三 明治 二十七年二月 里道及び橋梁修繕ノ寄附金募集ノ遊説者勧誘……………八八六
- 三四 明治 二十八年九月 東山塩尻嶺廢道二屢スル並木及び敷地取分替願……………八八九
- 三五 明治 二十九年四月 東筑摩郡広丘村野村共学社創設起元書並建議書……………八九〇
- 三六 明治 二十九年四月 知事宛内務大臣天理教会嚴重取締方訓令……………八九〇
- 三七 明治 二十九年七月 塩尻遊廓雜続願……………八九二
- 三八 明治 二十九年十二月 物価及び人夫賃等取調べ……………八九三
- 三九 明治 二十九年十二月 村長辞任願……………八九三

九 明治三十年 五月 村長當選辭退願……………八九二
 七 明治三十二年五月 子守教育所設置趣意書……………八九三
 七 明治三十三年一月 信濃石灰製造株式會社株主募集……………八九三
 七 明治三十三年四月 塩尻町區會議員選舉……………八九四
 七 明治三十三年五月 內閣總理大臣篠ノ井・塩尻間鐵道用地土地收
 用法適用認定公告……………八九四
 六 明治三十四年八月 東筑摩郡道路修築保存規程……………八九五
 五 明治三十五年七月 伝染病隔離病舎増築……………八九六
 七 明治三十五年八月 洗馬村衆議院議員選舉概況……………八九七
 七 明治三十七年六月 施行事業認可申請書……………八九七
 七 明治三十七年 片丘村役場兵事事務報告……………八九九
 七 明治三十八年二月 戰死者村葬弔辭……………八九九
 六 明治三十八年四月 広丘村施設經營成績要項調查報告……………九〇〇
 六 明治三十八年七月 東筑摩郡町村有林設置規程……………九〇三
 六 明治三十八年八月 洗馬村有林設置……………九〇三
 六 明治三十八年九月 塩尻筑摩地東山組合規約……………九〇三
 六 明治三十八年十月 凱旋軍人歡迎會……………九〇四
 六 明治三十八年 征露戰利品御下附願……………九〇四
 六 明治三十九年四月 神饌幣帛料供進ノ件……………九〇四
 六 明治三十九年十二月 赤羽巖穴『乱雲驚濤』抄録……………九〇四
 六 明治四十年 一月 信越教役者會宛松本聖十字教會報告 委員前年
 度教況報告……………九〇五
 六 明治四十年 二月 松本區裁判所宗賀出張所移転願書……………九〇六
 六 明治四十一年三月 東筑摩郡片丘講義所定住伝導師教況報告
 ………………九〇七

五 明治四十二年三月 筑摩地村給与規定……………九〇八
 五 明治四十二年十二月 筑摩地村役場竣工式村會議員總代祝辭……………九〇九
 五 明治四十三年四月 片丘村紛議事件和解書……………九〇九
 五 明治四十四年五月 北熊井消防組規約……………九一〇
 五 大 正
 五 大正 二年 四月 塩尻村會議員選舉……………九一二
 五 大正 六年 五月 果宛東筑摩郡宗賀村日出塩火災概況報告
 ………………九一四
 六 大正 六年十一月 片丘村矯風會規約……………九一四
 六 大正 七年 筑摩地村役場日誌……………九一五
 六 大正 八年 二月 金井火防組合規則施行細則……………九一六
 六 大正 八年十二月 中學校設置陳情書……………九一八
 六 大正 九年 一月 片丘維新史序文……………九一九
 六 大正 九年十一月 片丘問題平靜學校問題の其後……………九一九
 六 大正 九年十一月 第一回国勢調查調查員報告……………九一九
 六 大正 十年 二月 東筑摩郡聯合青年團創立經過等片丘村南内田青
 年團日誌……………九二〇
 六 大正 十年 二月 塩尻村青年會金井部會規則……………九二二
 六 大正 十年 四月 宗賀村部落有財產統一協定書……………九二三
 六 大正 十二年 一月 東筑摩郡広丘村野村共學社社則削除決議文
 ………………九二三
 六 自 大正 一一年 筑摩地村生活改善実行要項……………九二四
 六 至 昭和 元年
 六 昭和 二年 四月 一日 塩尻町制施行……………九二五

二〇	昭和二年六月	松筑産牛馬畜産組合宛東筑摩郡洗馬村農用馬車等調査回答……………	九五
二一	昭和三年二月	洗馬村衆議院議員総選挙……………	九六
二二	昭和三年三月	東筑摩郡宗賀村有限責任桔梗ヶ原購買販売組合活動概況……………	九七
二三	昭和三年	塩尻町上水道布設……………	九九
二四	昭和三年	塩尻水道問題……………	九三
二五	昭和四年二月	洗馬村小曾部山問題……………	九三
二六	昭和四年三月	昭和天皇御大典記念式典及び記念事業……………	九五
二七	昭和五年五月	苗代等につき東筑摩郡筑摩地村農家組合長等協議会提出事項……………	九七
二八	昭和五年	筑摩地村の村治概要……………	九八
二九	昭和五年	糸橋低落……………	九九
三〇	昭和五年十一月	第十四師団秋季演習……………	九九
三一	昭和七年四月	塩尻町巡回産婆設置規定……………	九九
三二	昭和七年九月	洗馬村経済改善委員会規程……………	一〇〇
三三	昭和九年六月	火葬場使用規定……………	一〇〇
三四	昭和九年十二月	市町村財政補助請願……………	一〇一
三五	昭和十年三月	起債許可稟請書……………	一〇一
三六	昭和十年八月	選挙粛正運動標語募集……………	一〇三
三七	昭和十年	経済更正計画及び実施状況……………	一〇三
三八	昭和十一年九月	広丘停車場創設期成同盟会会計報告……………	一〇四
三九	昭和十三年	筑摩地村分郷分村計画……………	一〇六
四〇	昭和十四年一月	町会議決報告……………	一〇八
四一	昭和十四年二月	塩尻警察署敷地寄附……………	一〇八
四二	昭和二十二年八月	敗戦直後東筑摩郡片丘村南内田女子青年団日誌至同年十月……………	一〇八
四三	昭和二十三年六月	洗馬村・朝日村境変更……………	一〇九
四四	昭和二十七年三月	片丘村生活改良指針……………	一〇九
四五	昭和二十七年十月	戦没者追悼式……………	一〇九
四六	昭和二十九年四月	上高地行直通バス実現……………	一一〇
四七	昭和二十九年五月	塩尻町の発展につき討論……………	一一〇
四八	昭和二十九年五月	東山開拓の現況……………	一一〇
四九	昭和三十一年九月	塩嶺隧道実現可能か……………	一一〇
五〇	昭和三十三年九月	塩尻町議会……………	一一〇
五一	昭和三十三年九月	片丘村議会……………	一一〇
五二	昭和三十三年九月	広丘村議会……………	一一〇
五三	昭和三十三年九月	宗賀村議会……………	一一〇
五四	昭和三十三年九月	筑摩地村議会……………	一一〇
五五	昭和三十三年	塩尻市設置に関する資料……………	一一〇
五六	昭和三十四年四月	新市発足にあたって全市のみなさんへ……………	一一〇
五七	昭和三十四年四月	塩尻市役所開庁式……………	一一〇
五八	昭和三十四年四月	塩尻市設置につき長野県公告……………	一一〇
五九	昭和三十四年八月	塩尻市の字の区域についての長野県告示……………	一一〇
六〇	昭和三十四年十一月	塩尻市議会……………	一一〇
六一	昭和三十五年四月	中央東線に急行列車運行……………	一一〇
六二	昭和三十五年六月	高ボツチへバス開通……………	一一〇
六三	昭和三十六年一月	塩尻市分市調停案……………	一一〇
六四	昭和三十六年四月	塩尻市合併の経過の概要……………	一一〇

第四 方言・俚謡・俚諺

- 一 塩尻の方言 九七九
- 二 塩尻の俚謡 一〇〇
- 三 塩尻の俚諺 一〇三
- 参考・引用文献 一〇六

第五 戦没者名簿・満蒙開拓犠牲者名簿

- 一 西南戦争・太平洋戦争の戦没者名簿 一〇三
- 二 満蒙開拓団・義勇隊の犠牲者名簿 一〇六

塩尻市誌編纂関係者名簿

あとがき

写真・図・表 目次

口絵1	平出遺跡		
2	柴宮の銅鐸(大門)		
3	緑釉水瓶(平出)		
4	菖蒲沢の瓦塔(北熊井)		
5	川西遺跡の出土品―緑釉陶器(吉田)		
6	小松家住宅(北熊井)		
7	島崎家住宅(北熊井)		
8	堀内家住宅(堀の内)		
9	小野家住宅(堀尻町)		
10	小野神社 本殿(宮前)		
11	小野神社 本殿(宮前)		
12	小野神社八幡宮(宮前)		
13	小野神社勅使殿(宮前)		
14	木造十一面観音立像(牛伏寺)		
15	脇侍 木造不動明王立像(牛伏寺)		
16	脇侍 木造毘沙門天立像(牛伏寺)		
17	木造釈迦如来坐像(牛伏寺)		
18	脇侍 木造騎獅文殊薩摩像(牛伏寺)		
19	脇侍 木造騎象普賢薩摩像(牛伏寺)		
20	木造薬師如来坐像(牛伏寺)		
21	木造蔵王権現立像(牛伏寺)		
22	木造大威徳明王騎牛像(牛伏寺)		
23	木造如意輪観音坐像(牛伏寺)		
24	木造尊衣婆坐像(牛伏寺)		
口絵25	真正寺の木造大日如来坐像(岩垂)		
26	小野神社 ねんじり棒祭り(北小野)		
27	ささら踊り(南内田)		
28	小野神社御柱祭の里曳き(北小野)		
29	阿禮神社祭の舞台(町区)		
30	槻井泉神社祭りの舞台(芦ノ田)		
31	厄よけの護摩祈禱(牛伏寺)		
32	節分のヤクナゲ(郷原)		
33	盆棚(南内田)		
34	稲の脱穀(堅石)		
35	秋の漬菜洗い(南内田)		
第一 民 俗			
写真1・1	ホソナガシの御幣と輪		
1・2	悪疫よけ		
1・3	シンドテ		
1・4	古堂の墓地		
1・5	オツライシ		
1・6	塔婆柳		
1・7	たたり石		
1・8	地藏橋の地藏		
1・9	盆のオナガシする川		
1・10	桔梗ヶ原		
写真1・11	イワイテン		
1・12	出産のお守り		
1・13	ウブユを浴びせる赤ん坊		
1・14	へその緒		
1・15	初宮参り		
1・16	初誕生		
1・17	厄よけのヤクモチ		
1・18	成長する女の子		
1・19	夫婦杯をすませた夫婦		
1・20	葬列		
1・21	ドンブリヤ		
1・22	無縁仏をまつた祠		
1・23	野に送った仏の土産		
1・24	屋敷構え		
1・25	農家の出入り口		
1・26	オエー		
1・27	裏からの出入り口		
1・28	アガリハナ		
1・29	裏からの出入口		
1・30	母屋のトマクチ		
1・31	柱時計と話者		
1・32	生家を立つ前に家族と記念撮影		
1・33	ミシンで裁縫する嫁		
	する嫁		

写真1・34 味噌玉づくり

1・35 ユキバカマ

1・36 葬式の手伝い

1・37 主婦が整える仏壇の供物

1・38 両親の手伝いをする子ども

1・39 肩・腰あげのある着物姿の女児

1・40 そば打ち

1・41 ゴムとび

1・42 トリオイ

1・43 サンクローの松あつめ

1・44 親と子で脱穀

1・45 同姓の墓掃除

1・46 ユイノの仲人

1・47 葬式の手伝い

1・48 たいまつ祭りの子ども

1・49 庚申講

1・50 ドンブリヤの子ども仲間

1・51 主婦の集まり

1・52 街道端の井戸

1・53 路傍にまつる馬頭観音

1・54 かつて旅籠を営んだ民家

1・55 塩尻峠に向かう道

1・56 ニグルマ

1・57 ほうきの行商

1・58 上棟式のユミヤ

1・59 無人販売所

1・60 ぶどうの出荷

写真1・61 田植え

1・62 七夕人形

1・63 盆棚

1・64 稲刈機で稲刈りをする

1・65 神棚にまつる年神棚

1・66 オンパシラを立てる

1・67 小正月の作り物

1・68 燃えるサンクロー

1・69 小曾部川

1・70 冬の奥山

1・71 平成館

1・72 火の見やぐら

1・73 下小曾部の集落

1・74 上小曾部の集落

1・75 山の神の弓矢

1・76 山仕事の專業者

1・77 斜面での山仕事

1・78 束ねたまき

1・79 丸太おろし

1・80 馬にひかせた丸太

1・81 丸太を運ぶ

1・82 丸太をトラックで運ぶ

1・83 きのことり

1・84 原口の溜池

1・85 馬耕すき

1・86 水田のシロカキ

1・87 苗とり

写真1・88 稲のハゼかけ

1・89 キャベツ栽培

1・90 セロリの収穫

1・91 外での養蚕

1・92 飼育利用する馬

1・93 男性の野良着

1・94 コーリモチ

1・95 味噌たき風景

1・96 かんびょう干し

1・97 そば切り

1・98 本棟造りの民家

1・99 かやぶきの屋根ふき

1・100 川で野菜を洗う

1・101 正月の入り口の飾り

1・102 正月の床の間の飾り

1・103 入り口の柱につけたオヤス

1・104 土蔵の前のオソナエ

1・105 新年会風景

1・106 小正月のエビス棚の飾り

1・107 小正月のアーボ・ヒエボ

1・108 堆肥の上のアーボ・ヒエボ

1・109 小正月の膳

1・110 粥箸と柳の箸

1・111 正月の飾り集めの子ども

1・112 サンクローの火祭り

1・113 盆棚

1・114 ホトケ迎え

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

一六

写真1・115 アラボンの盆棚

1・116 生後まもない赤ん坊

1・117 風呂を浴びせる赤ん坊

1・118 七五三の祝い

1・119 成長した子ども

1・120 ユイノ

1・121 結婚式の若夫婦

1・122 ゲートホールをする老人

1・123 埋めた墓

1・124 墓地の全景

1・125 神棚

1・126 イワイデン

1・127 イワイデンと石塔群

1・128 イワイデンの祭り

1・129 イワイデンの祭りの供え物

1・130 山の神

1・131 石塔

1・132 庚申塔

1・133 新しい庚申塔

1・134 秋葉などの神札を入れる箱

1・135 鹿嶋神社跡地の畑

1・136 小曾部神社

1・137 小曾部神社の祭り(1)

1・138 小曾部神社の祭り(2)

1・139 観音堂

1・140 雨ごいの祈禱札

1・141 トータルライフ

写真1・142 柏茂会館

1・143 姑と嫁

1・144 集落の裏にある家々

1・145 二年参りの準備をするお宮の役員

1・146 氏神様の社地

1・147 井戸

1・148 ユイノ

1・149 花嫁

1・150 披露宴

1・151 たらいで浴びるウブユ

1・152 オミヤマイリ

1・153 初誕生

1・154 七五三の祝い

1・155 葬列

1・156 墓の上の設備

1・157 墓に納めた塔婆

1・158 母家前の植え込み

1・159 センゼ畑

1・160 ナカセンゲ

1・161 切妻平入り住居

1・162 切妻妻入り住居

1・163 住居の表側

1・164 いろいろのあつたお勝手

1・165 ユキバカマ

1・166 カルサン

1・167 女性の仕事着

写真1・168 アシナカ

1・169 ユキグツ

1・170 葬式の衣装

1・171 そば打ち

1・172 ザコスシ作りの道具

1・173 かんびよう干し

1・174 コーリモチ

1・175 オモリ

1・176 ハンボー

1・177 ミソダマ作り

1・178 畑作物

1・179 そばのふるい分け

1・180 小豆をこなす

1・181 レタスの栽培

1・182 水田地帯

1・183 保温苗代

1・184 水田の地ならし

1・185 脱穀

1・186 春蚕の桑条飼育

1・187 ぶどうの収穫

1・188 なしの袋かけ

1・189 あゆ漁

1・190 投網漁

1・191 こいの養魚

1・192 野菜の出荷

1・193 北国西街道

1・194 アクヤマ

写真1・195	わら細工をした蚕室	二五〇	写真1・222	同姓で墓掃除	三七七	写真1・249	イキバカマ	二四四
1・196	アスパラの仕分け	二六六	1・223	同姓のウエーテンサマ	三八	1・250	女性の仕事着	二四六
1・197	鉾掛け屋が仕事をした庭	二六八	1・224	区有林への道	三三	1・251	ミノ	二四八
1・198	松飾り	二六九	1・225	オンバシラ立てのムラの人	三三	1・252	食用にするこい	二四八
1・199	サンクロー	二七〇	1・226	庚申講	三三	1・253	オカザリ	二五一
1・200	ひな飾り	二七〇	1・227	蚕玉講の祭りの場	三三	1・254	葬式の料理	二五一
1・201	ミソダマツクリ	二七〇	1・228	イネバナ作りの子どもたち	三四	1・255	庚申講の飲食	二五三
1・202	カユカキホー	二七〇	1・229	松集めをする子どもたち	三四	1・256	畑作物	二五三
1・203	こいのぼり	二七〇	1・230	長持ち担ぎの青年	三五	1・257	小麦の栽培	二五三
1・204	田植え	二七〇	1・231	ユイノーの品々	三六	1・258	小豆をこなす	二五三
1・205	七夕飾り	二七〇	1・232	ハネオヤに導かれる嫁	三六	1・259	トマト栽培	二五三
1・206	七夕の供え物	二七〇	1・233	出合い祝言の披露宴	三六	1・260	保温苗代	二五三
1・207	墓掃除	二七〇	1・234	生誕祭に参加する母子	三六	1・261	田植え	二五三
1・208	盆棚	二七〇	1・235	入学する男の子	三六	1・262	ハーベスターで脱穀	二五三
1・209	取り入れ	二七〇	1・236	牛伏寺の護摩祈禱	三六	1・263	蚕の放し飼	二五三
1・210	郷原義経社合殿	二七〇	1・237	遺骨を墓に納める	三六	1・264	繭の毛羽取り	二五三
1・211	長持ちの練り	二七〇	1・238	お清め	三六	1・265	鶏の飼育	二五三
1・212	境内社	二七〇	1・239	キチューバライ	三六	1・266	道	二五三
1・213	郷福寺	二七〇	1・240	新墓地	三六	1・267	道	二五三
1・214	道祖神碑	二七〇	1・241	屋敷構え	三七	1・268	あんずの木	二五三
1・215	山の神の供物	二七〇	1・242	井戸	三七	1・269	セナカアテ	二五三
1・216	神棚	二七〇	1・243	キド	三七	1・270	牛伏寺縁日	二五三
1・217	えびす棚	二七〇	1・244	土蔵	三七	1・271	子ども神輿	二五三
1・218	庚申碑	二七〇	1・245	かやぶき寄棟造りの母家	三七	1・272	門松	二五三
1・219	庚申の掛け軸	二七〇	1・246	トマグチ	三七	1・273	松にかわる柳の正月飾り	二五三
1・220	玄蕃之丞をまつる社	二七〇	1・247	オエ	三七	1・274	マユダマ	二五三
1・221	家族で脱穀	二七〇	1・248	タテマエ	三七	1・275	オンバシラ	二五三

写真1・276	道具の年取り	二七			
1・277	物作り	二七			
1・278	松集めの子どもたち	二七			
1・279	燃えるサンクロー	二八			
1・280	トリオイ	二八			
1・281	牛伏寺の厄除け参り	二八			
1・282	のほりとこいのほり	二八			
1・283	しょうぶ屋根	二八			
1・284	盆棚	二八			
1・285	ささらおどり	二八			
1・286	仏の土産	二八			
1・287	送り盆	二八			
1・288	大宮八幡宮	二八			
1・289	湯立ての舞	二八			
1・290	無量寺	二八			
1・291	蚕玉様	二八			
1・292	道祖神碑	二八			
1・293	サンクロー	二八			
1・294	オンバシラ	二八			
1・295	祝殿の祭り	二八			
1・296	庚申講	二八			
1・297	神棚	二八			
1・298	山頂の鉢伏神社	二八			
1・299	赤木山	二八			
1・300	大宮八幡宮	二八			
1・301	無量寺の鐘	二八			
1・302	門松のかわりの柳	二八			
写真1・303	シンドテ	二八			
図1・1	厄除けのヌカイブシ	二八			
1・2	境界の施設	二八			
1・3	厄除け	二八			
1・4	屋敷図(城戸武彦宅)	二八			
1・5	屋敷図(中野勝男宅)	二八			
1・6	農家の屋敷図・間取り図(五味直明宅)	二八			
1・7	農家の新築間取り図(五味直明宅)	二八			
1・8	郷原の屋敷割	二八			
1・9	町家の屋敷図・間取り図(中村廣人宅)	二八			
1・10	町家の新築間取り図(中村廣人宅)	二八			
1・11	農家の出入口(五味直明宅)	二八			
1・12	新築農家の出入口	二八			
1・13	町家の出入口	二八			
1・14	新築町家の出入口	二八			
1・15	柱時計を掛けてある家の間取図	二八			
1・16	女物野良着の仕立て方寸法図	二八			
1・17	ユキバカマの裁ち方	二八			
1・18	組のつきあいの一例	二八			
1・19	同族の呼び名	二八			
1・20	オヤを頼む	二八			
1・21	広丘郷原を中心とした道の概念図	二八			
図1・22	生活暦一覽	二八			
1・23	わら細工小屋	二八			
1・24	元旦に餅を食べない家	二八			
1・25	小正月の火祭りの呼び名	二八			
1・26	道祖神のわらで作ったウマの呼び名	二八			
表1・1	住まいの出入口	二八			
1・2	ユキバカマの寸法	二八			
1・3	改まった日の食べ物など	二八			
1・4	上小曾部の構成	二八			
1・5	下小曾部の構成	二八			
1・6	洗馬地区森林所有形態別面積	二八			
1・36	アシナカ	二八			
1・37	現状平面図(百瀬芳澄宅)	二八			
1・38	イキバカマ	二八			
1・39	南内田を中心とした用水河川と溜池の概念図	二八			
1・33	現状平面図(白井雄一宅)	二八			
1・34	ユキバカマ	二八			
1・35	カルサン	二八			
1・32	現状平面図(中村廣人宅)	二八			
1・31	郷原宿の屋敷構え	二八			
1・30	本棟造り民家の間取り図	二八			
1・29	洗馬森林の所有形態別所在	二八			
1・28	A家を中心とした系譜関係	二八			
1・27	小曾部略図	二八			

表1・7 小曾部林野利用農協所有森林の樹種・樹齡別面積

1・7	小曾部林野利用農協所有森林の樹種・樹齡別面積	一六	写真2・14	パークラインから穂高岳を望む	四六	写真2・37	北熊井諏訪社本殿外観	四元
1・8	上小曾部の農業の概要	一七	2・15	塩嶺王城里立公園	四六	2・38	正面	四元
1・9	下小曾部の農業の概要	一八	2・16	長興寺庭園	四七	2・39	向拝内部	四元
1・10	小曾部のイワイデン一覽	二三	2・17	木鼻(小野神社本殿)	四〇	2・40	阿禮神社本殿外観	四〇
1・11	明治一二年現在の小曾部の神社一覽	三三	2・18	"(牛伏寺仁王門)	四〇	2・41	"	四〇
			2・19	"(阿禮神社本殿)	四〇	2・42	釜井庵外観	四三
			2・20	藁股(小野神社本殿)	四〇	2・43	"	四三
			2・21	"(東漸寺本堂)	四〇	2・44	槻井泉神社本殿外観	四三
			2・22	"(芦ノ田観音堂)	四〇	2・45	大日堂外観	四三
			2・23	木鼻(北熊井諏訪社本殿)	四二	2・46	"	四三
			2・24	海老虹梁・崇鼻(小野神社勅使殿)	四二	2・47	水福寺旭観音堂外観	四四
			2・25	"	四二	2・48	"	四四
			2・26	龍彫刻の繋ぎ・手挟(伊夜彦社本殿)	四二	2・49	芦ノ田観音堂外観	四四
			2・27	中村伝左衛門の作品	四三	2・50	郷福寺表門外観	四四
			2・28	柴宮長左衛門の作品	四三	2・51	伊夜彦社本殿向拝内部	四六
			2・29	小野神社本殿・八幡宮本殿口外観	四三	2・52	長興寺山門正面	四六
			2・30	勅使殿	四七	2・53	東漸寺本堂外観	四七
			2・31	神楽殿	四七	2・54	"	四七
			2・32	本殿向拝	四七	2・55	内部	四七
			2・33	本殿向拝木鼻	四七	2・56	牛伏寺観音堂外観	四六
			2・34	旧本地堂	四七	2・57	"	四六
			2・35	鐘楼・額殿	四七	2・58	如意輪堂外観	四六
			2・36	北熊井諏訪社本殿障子	四七	2・59	"	四六
					四七	2・60	本坊外観	四六
					四七	2・61	仁王門架構	四六
					四七	2・62	床尾神社本殿外観	四六
					四七	2・63	"	四六

第二文化財

写真2・1	比叡の山より平出遺跡を望む	四七	2・24	海老虹梁・崇鼻(小野神社勅使殿)	四二	2・47	水福寺旭観音堂外観	四四
2・2	平出の泉とその周辺	四九	2・25	"	四二	2・48	"	四四
2・3	釜井庵	四〇	2・26	龍彫刻の繋ぎ・手挟(伊夜彦社本殿)	四二	2・49	芦ノ田観音堂外観	四四
2・4	郷原宿の古井戸	四二	2・27	中村伝左衛門の作品	四三	2・50	郷福寺表門外観	四四
2・5	小丸山遺跡	四三	2・28	柴宮長左衛門の作品	四三	2・51	伊夜彦社本殿向拝内部	四六
2・6	平出の一里塚	四三	2・29	小野神社本殿・八幡宮本殿口外観	四三	2・52	長興寺山門正面	四六
2・7	東山の一里塚	四三	2・30	勅使殿	四七	2・53	東漸寺本堂外観	四七
2・8	岩垂の高札場	四三	2・31	神楽殿	四七	2・54	"	四七
2・9	北熊井城跡	四四	2・32	本殿向拝	四七	2・55	内部	四七
2・10	鉢伏山頂から富士山を望む	四六	2・33	本殿向拝木鼻	四七	2・56	牛伏寺観音堂外観	四六
2・11	鉢伏山頂から北アルプス・松本平を望む	四六	2・34	旧本地堂	四七	2・57	"	四六
2・12	高ボッチ山頂から南アルプス連峰を望む	四六	2・35	鐘楼・額殿	四七	2・58	如意輪堂外観	四六
2・13	パークラインから八ヶ岳諏訪湖を望む	四六	2・36	北熊井諏訪社本殿障子	四七	2・59	"	四六

写真2・64 床尾神社本殿表飾り

2・65 小松家住宅外観

2・66 " 室内

2・67 嶋崎家住宅土間

2・68 " からカミザシキを見

る

2・69 " オエ

2・70 " 外観

2・71 堀内家住宅オエよりカットを見

る

2・72 " 外観

2・73 " オエ

2・74 古沢勝男家住宅外観

2・75 " 座敷

2・76 岩垂隆家住宅外観

2・77 " カミザシキ

2・78 田柳沢家住宅外観(移築後)

2・79 " 座敷()

2・80 小野家住宅下屋

2・81 " 外観

2・82 " 土間

2・83 " オエの箱階段

2・84 " 桜の間

2・85 上條益司家住宅正面外観

2・86 " 東側面外観

2・87 " 式台から上段ノ

間を見る

写真2・88 上條益司家住宅上段ノ間

2・89 田中明三三宅住宅外観

2・90 " オエ

2・91 小林一弘家住宅 みせの間にあ

る元の風呂場

2・92 " 外観

2・93 秋山明平家住宅外観

2・94 " 床の間

2・95 " 大戸

2・96 赤羽弘家住宅外観

2・97 " シモザシキ

2・98 " カミザシキ

2・99 赤羽宣治家住宅外観

2・100 " 土間

2・101 小林直樹家住宅外観

2・102 山田耕家住宅外観

2・103 " かつてば

2・104 牛伏寺木造十一面観音立像

2・105 " 不動明王立像

2・106 " 毘沙門天立像

2・107 " 十一面観音立像台坐

墨書銘

2・108 牛伏寺木造釈迦如来座像

2・109 " 騎獅文殊菩薩像

2・110 " 騎象菩薩菩薩像

2・111 " 薬師如来坐像

2・112 " 大威徳明王騎牛像

写真2・113 牛伏寺木造如意輪観音坐像

2・114 " 蔵王権現立像

2・115 真正寺木造大日如来坐像

2・116 " 胎内銘

2・117 常光寺木造如意輪観音坐像

2・118 懸仏残闕

2・119 牛伏寺木造脱衣婆坐像

2・120 " 地藏菩薩半跏像

2・121 " 十王坐像

2・122 銅鐸

2・123 毛抜型太刀(東部と全体)

2・124 鋸口

2・125 瑞花双鳥八稜鏡・鉄製吊環(内)

2・126 " 鏡模写

2・127 瑞花双鸞八稜鏡

2・128 秋草水禽模様鏡

2・129 鉄製護摩炉

2・130 小野神社の鐸鉢

2・131 " 梵鐘

2・132 無量寺の半鐘

2・133 玉類

2・134 石造宝塔

2・135 吉田上手の道祖神

2・136 洗馬元町の道祖神

2・137 洗馬長興寺の庚申塔

2・138 棧敷室跡の庚申塔

2・139 馬頭観世音(塩尻峠)

2・140	宝馬をいたたく馬頭観世音	四五	写真2・166	北小野のねんじり棒	五六	図2・17	大日堂平面図	四三
2・141	緑袖水瓶	四五	2・167	南内田のささら踊り	五七	2・18	永福寺旭観音堂平面図	四四
2・142	緑袖・灰衝陶器	四六	2・168	御柱	五七	2・19	伊夜彦社本殿平面図	四六
2・143	緑袖の皿	四六	2・169	床尾の神楽	五八	2・20	東漸寺本堂平面図	四七
2・144	瓦塔	四六	2・170	大宮八幡宮の湯立神楽	五八	2・21	牛伏寺本坊復元平面図	四九
2・145	鳥形硯	四六	2・171	芦ノ田の屋台	五九	2・22	仁王門平面図	四九
2・146	焼町土器	四六	2・172	阿禮神社の祭り	五九	2・23	観音堂	四九
2・147	平出三A土器	四七	2・173	熊野神社の獅子屋台	五〇	2・24	如意輪堂平面図	四九
2・148	埋甕	四六	2・174	鳴雷山の火祭り	五〇	2・25	床尾神社本殿平面図	四九
2・149	臥牛像	四九	2・175	北小野のドンブリヤ	五〇	2・26	小松家住宅復元平面図	四九
2・150	瀬戸屋松助作口臥牛胎内墨書銘	四九	図2・1	郷原地区の区割概念図	四二	2・27	二村家住宅	四九
2・151	三溝九左衛門瀬戸竈場借地證文	四九	2・2	岩垂の高礼場正面図	四四	2・28	藤原家住宅復元平面図	四九
2・152	最近見つかった洗馬焼の最ものは	五〇	2・3	北熊井城概念図	四五	2・29	小松家住宅復元平面図	四九
	やい頃の文書	五〇	2・4	小野神社配置図	四五	2・30	現状平面図	四九
2・153	洗馬焼	五〇	2・5	本殿平面図	四六	2・31	嶋崎家住宅復元平面図	四九
2・154	信斎焼	五一	2・6	八幡宮本殿平面図	四六	2・32	堀内家住宅平面図	四五
2・155	信斎焼	五一	2・7	神楽殿平面図	四六	2・33	古沢勝男家住宅復元平面図	四五
2・156	入道焼	五一	2・8	本地堂	四六	2・34	岩垂隆家住宅平面図	四五
2・157	入道焼	五一	2・9	勅使殿	四六	2・35	上條俊一家住宅復元平面図	四五
2・158	入道焼の竈跡の一部	五二	2・10	鐘樓平面図	四六	2・36	旧柳沢家住宅復元平面図	四六
2・159	西福寺開山和尚袈裟	五三	2・11	透門平面図	四六	2・37	藤村睦美家住宅平面図	四六
2・160	墨書銘	五三	2・12	北熊井諏訪社本殿平面図	四六	2・38	小野富義家住宅復元平面図	四六
2・161	常光寺古写経	五三	2・13	阿禮神社本殿平面図	四六	2・39	赤羽達郎家	四六
2・162	原家古文書	五四	2・14	釜井庵現狀平面図	四七	2・40	小野家住宅復元平面図	四六
2・163	八方呪	五五	2・15	復元平面図	四七	2・41	上條益司家住宅復元平面図	四六
2・164	市川月静の欄間絵	五五	2・16	槻井泉神社本殿平面図	四七	2・42	田中明三家	四六
2・165	水墨画山水	五五				2・43	小林一弘家	四六

図2・44 小林一弘家住宅復元平面図(二階) 四六

2・45 秋山明平家 " 四六

2・46 赤羽弘家 " 四六

2・47 赤羽宣治家 " 四六

2・48 小林直樹家住宅平面図 四六

2・49 " 復元平面図 四六

2・50 山田耕家 " 四六

2・51 務台与家 " 四六

2・52 旧洗馬宿本陣平面図 四六

2・53 小野神社の鐸鉢 四六

表2・1 塩尻市内の近世社寺建築関係工匠

一覽 四三

2・2 塩尻市の馬頭観音 四三